

明治二十七年

(二月)

一月一日 月曜 朝曇、午下晴。
朝五時起。四方拜。天地神ヲ祈ル。七時、拳家生徒一同、椒酒雜煮ヲ祝フ。畢而賀客ヲ迎フ。新年恭賀之名、則式百枚ヲ出ス。新年会招待状百廿枚ヲ生徒ニ出ス。

一月二日 火曜 晴朗。

朝五時起。祝雜煮、如例。畢而迎賀客。愛治郎、東京、横浜え年始廻勤ス。
浅田幸子より、みかん三箱。遠田濟より鶏卵一箱。

一月三日 水曜 晴朗。

朝六時起。午前より年始廻勤ス。始、小松宮邸ニ詣シ、御二所ニ謁シ、御広間ニテ御薄茶ヲ戴キ、御祝酒等如例。退テ、田村氏、戸田氏、中山、井上大臣、岩倉氏、三条邸、九条邸、一条邸、北白川宮、小西氏ヲ訪、入夜帰。

三条家より一糸織一反。一条家より縮緬友仙、煙草入。田村氏より檜子一籠。

受方摘要 中山氏より千疋。九条家より千疋。一条家より五百疋。

*縮緬友仙(縮緬友禪)

一月四日 木曜 晴、又陰。

朝六時起。終日明日之準備スル。愛治郎え一糸織一反、千久子え壁小紋一反、桃子え白七子一反、年玉ニ遣ス。

沢村鶴子より鶏卵一箱。前田龜造より鶏卵一箱。

一月五日 金曜 小寒入。陰、午後三時頃より雪、入夜雨。

朝六時起。新年会準備スル。午後一時、來客者続々來、會者九十人、付添人六十人余也。此時、神樂囃子アリ、一同椒酒、濟テ福引ス。畢、各散會ス。五時也。引続、講堂楼上ニテ出入方一同、年酒ス。歌舞相哥、尽樂テ各去、十時。一時臥。

齋藤氏より鶏卵一箱、蒸菓子一箱、五家宝甘本、七糸織六反。佐藤隱居より鴨一番籠入。久保豊子より八白七子一反。宮沢沢子より帯かげ。大前増子より縮緬袖切。石田常子より真綿。仁科駒子、果物籠入。奥村八重子より香箸、灰押、箱入。渡辺兩人より鴨籠入。中村兩人より真綿三。山登光子より銀貨入五ツ。益田小富より風呂敷。野口春より海苔箱入。長谷川貞、角砂糖。渡辺政より絹糸、菓子。松平鱗子より時雨蛤。到來物、此外、松魚、鶏卵三十四箱、柑五箱。

受方摘要 齋藤氏より五円。渡辺政子より五円。

*帯かげ(帯あげ)

一月六日 土曜 雨又風、暴風終日。
朝六時起。坐行ス。

齋藤氏より、みかん一箱。園頼子より砂糖一箱、九紅絹一反、羽子板二枚。

一月七日 日曜 陰、暖気。

朝六時起。坐行。

森永辰江より文庫二ツ。玉椿内侍より干菓子一箱。杉浦幸子よりかすていら一箱。児島愛子より鶏卵一箱、半襟一箱。伊藤定子より家鴨一疋。竹山静子、松魚券。石神井豊田より茶二袋。光円寺より海苔入一束。大坂美尾野やより撫子漬一樽。

受方摘要 佐久間隆子、一円。

*かすていら(カステイラ) *海苔(糊) *撫子漬(蕪漬)

一月八日 月曜 晴。昼六十度、春四月頃之氣候也。

朝六時起。坐行ス。授業始執行、通学生大既来、塾生半数。武井氏漢学雇入ル。来客、裏松千代子、山本鶴子、同政子、五十嵐駒子、伊藤子之松、裏威。

室田菊江より鶏卵一箱。西三条浜子より鶏卵一箱。市川政子より鶏卵一箱。守屋鋏子より鶏卵一箱。長沢栄子より海苔一箱。山本よし子より砂糖一箱。レ、ンより鶏卵一箱。五十嵐駒子、鶏卵一箱、鳥味噌ふた物。山本鶴より海苔一箱。伊藤子之松より蒸菓子一箱。受方摘要 野口桃天、一円。

*大既(大概) *裏威(重威) *ふた物(蓋物)

一月九日 火曜 陰晴不定。

朝四時起。坐行。課業如例。午下、閑院宮様え御年始ニ参り、御息所様より御祝酒及御料理戴候て、帰り懸、裏松家二行、姉邸二行テ帰。来客、石山基正。

井上久可子より茶碗蒸茶碗十人前箱入、外ニ煮茶茶碗、急須、湯さまし箱入。角田より鶏卵一箱、干菓子一箱。小田切より真綿、杏鐘詰。閑院様より繻珍羽織裏地、半切二包、封筒。辻八千より鯛味噌。矢島愧子より国産豆鐘詰、一位木製短冊夾、同写真掛。

*煮茶々碗(煎茶々碗)

一月十日 水曜 晴朗、微震。

朝五時起。坐行。課業如例。来客、川久保捨子、井上市兵衛一宿。

代田千代より、鶏卵一箱。石川千枝より真綿、鼠海気一丈。井上市兵衛より菓子梅か香。京都木田万より千枚漬二桶。

弘方摘要 (〇)チ、ブ紅絹一疋、四円九十銭。

*チ、ブ（秩父）

一月十一日 木曜 晴朗。

朝五時起。坐行。課業如例。来客、加茂富子。井上氏、午後去。此日、家事改革予算案執行、余、及愛治郎、千久、泰、栄、鶴、弘二月々小遣金ヲ出シ、各自弁ス。余八月二五円ノ小遣ヲ受ク。千久、桃子同シ。

加茂富子より、みかん一箱。

弘方摘要 井上氏え一円。

一月十二日 金曜 晴朗。

朝五時過起。坐行。課業如例。午下、小松若殿下え参り、去、岩倉邸ヲ訪テ帰。稲垣銚子より鶏卵大一。裏松千代子より干柿一箱。

弘方摘要 車夫及をし、五銭。

*をし（押し）

一月十三日 土曜 晴朗。

朝五時起。坐行。課業如例。午下、徳川邸二年始申上ル。富子様、御祝酒戴。此時、松平頼総様の増と申人ニ始ニ逢、種々咄しなとして帰。此夜、戸田氏共伯之使来ル。

美濃青木氏より酒の糟一箱。

*松平頼総様（松平頼聡様）

一月十四日 日曜 晴。

朝六時起。坐行。余、桃子ト同しく、朝十時より青山御所、御年始ニ参る。浜荻典侍、若松典侍、糸桜内侍ニ対面、浜荻典侍御局ニテ御祝酒及御昼戴、若松典侍、糸桜内侍より御料理戴く。御奥より御菓子拝戴ス。午下一時過より宮城藤袴内侍殿御局え参り、御年始申上、御祝酒御料理等戴、四時去ル。来客、原富太郎、夜八時頃帰ル。

受方摘要 浜荻典侍より五百疋。楊梅典侍、五百疋。藤袴内侍、二円。紅梅典侍、千疋。

床夏内侍、七百疋。紅葉内侍、七百疋。

浜荻さまより黒繻珍帯地。楊梅さまより半切二★。若松さまより白御綾御切御紙入。糸桜さまより白羽二重半反。くに子さまより半切十★、封筒廿★。福田よし子より半切十★、封筒十★、（十）岸縞一反、御細工物八ツ。

弘方摘要 車夫え四十銭。

*床夏内侍（常夏内侍）

一月十五日 月曜 晴。

朝五時半起。坐行。課業如例。来客、中島千重子。午下墓参ス。佐野隠居え年詞ニ参る。

夫より五軒町重威新年会ニ付、余、愛治郎、千久も行。夜九時過帰ル。

宮城新樹さまより**繡珍かた入**。園さまより白羽二重**おひよ地**御紙入。藤袴さまより十一白羽二重一反、二岸縞一反、御手塩皿五人前、御紙入二ツ。花松さまより御袱紗、御細工物。照子はじめより御蒸菓子一箱。北白川吉野より御菓子一箱。斎藤氏より鴨二羽、**煉羊羹**一箱。鷲田菊江より干菓子一箱。中島千重より鶏卵一箱。

受方摘要 早蕨典侍、五百疋。楓内侍、五百疋。花松典侍、五百疋。新樹典侍、千疋。北白川宮、七百疋。

*繡珍かた入(繡珍肩入) *おひよ地(御飛代地) *煉羊羹(練羊羹)

一月十六日 火曜 晴。

朝五時半起。坐行。課業如例。午下、戸田氏稽古始執行して帰ル。来客、吉田庸子、多久庸、万里為、佐々木豊子来。大谷光勝院門様、昨十五日朝薨去。佐野隠居より口取物料理一重。多豊尾より鶏卵一箱。吉田庸子より鴨二羽。万里小路より口取物料理二重。小西歌子よりみかん一箱、干菓子一箱、蒲鉾三枚。

一月十七日 水曜 晴、夜月清。

朝六時起。行薬。課業如例。晡時、五軒町ヲ訪テ帰。九条恵子殿、本日**午〇廿五分**、御女子御分婉報来。来客、山崎丑栄帰校ス。

中島氏より鶏卵一箱。天下茶屋寺田氏より、蕪漬一樽。山崎氏より干菓子一箱。近藤春恵より**ジネンジヨ芋**。

*午〇廿五分(午〇時廿五分) *ジネンジヨ芋(自然薯芋)

一月十八日 木曜 晴。

朝五時半起。坐行。課業如例。来客、毛利美佐子、田村長子、増子、小松若宮御息所御使。午下四時頃ヨリ九条家え参殿、恵子様及御誕生之姫君をも見上ル。いと御丈夫さま、御二方ともおするくさまニテ大安心。夜七時過帰ル。堀田善子帰塾ス。

毛利氏より海鼠一箱、御手塩五人前、御半襟、御半切二ツ。田村氏より車ノ前革一枚、带上、半襟、一同えも同上。小松宮様より蒸菓子一箱、しら魚。堀田善子、**指輪せんへい**、博多貨幣入。大塚陽子母より半紙二**★**、半襟。

*指輪せんへい(指輪煎餅)

一月十九日 金曜 晴。

朝六時起。行薬。課業如例。午下、千久子ト共に**白木店**ニ買物して帰ル。来客、田辺朝子及母、牛込幸子母、吉川家使。

田辺氏より西洋葡萄酒入、白砂糖一箱。牛込氏より鶏卵一箱。吉川真佐子より大鶏卵一箱。徳川氏より海鼠腸三台。木津願泉寺より蕪漬一樽。

弘方摘要 海氣一疋、七円七十銭。

*白木屋(白木屋)

一月二十日 土曜 晴。

朝六時起。坐行。課業如例。来客、横浜吉田久子、別府徳子、広田千代子母、安井隆造使
磯部寛聞。大谷光勝法主香料金千疋出ス。九条殿御誕生二付、鶏卵一箱、**生衣地**。

吉田氏より西洋干葡萄箱入。別府氏より福神漬罐入。広田氏より生鴨二羽。安井氏より砂
糖一箱。

*生衣地(産衣地)

一月廿一日 日曜 晴。

朝七時起。坐行。終日揮毫ス。来(客)、萩氏姉妹、毛利家井関氏、岩浪母、堀田正養、
西村政子、毛利家神代貞助、五島氏親戚人白浜徴。

萩氏より角砂糖一箱。岩浪氏より鶏卵一箱。西村氏よりカステイラ一箱。

一月廿二日 月曜 晴。夜月如鏡。招待、万里小路通房、午後四時。

朝五時半起。坐行。課業如例。午下四時頃ヨリ、余、千久、桃子ト同しく、万里家二行。
愛治郎、松野氏え行、帰途、此ニ来ル。宴ヲ張ル。鶴沢鶴助、外ニ義太夫も来、二、三番
ヲ演ス。十一時頃帰宅ス。来客、大谷木定子今ハ横山氏ニ嫁ス。

横山定子、羊羹一箱。斎藤氏より寒卵百果籠入、梅花枝。

一月廿三日 火曜 晴。夜隅田川之月佳。招待、三条別殿、午後二時頃より。

朝五時半起。坐行。課業如例。午〇時、戸田氏え教授して帰ル。二時半より橋場三条家御
別殿二行。信受院様え毛利元昭、同美佐子様成らせられ、席画揮毫ス。御酒宴御相伴ス。

対鷗荘之枯野之景、斜陽映して頗ル妙。先大府公之御在世思起して有感。晚餐後、御客も
御帰館、余も帰宅ス。来客、井上末子、松野祖母。

松のるいより鶏卵一箱。信受院殿よりアルミ銀鉢箱入、縮緬袖切。下婢久より小田原イカ
ノタ、キ一桶。

受方摘要 信受院殿より一円五十銭。

弘方摘要 文庫の紋付、十銭。**ヒフ小飾糸**、廿五銭。

*松のるい(松野るい) *ヒフ小飾糸(被布小飾糸)

一月廿四日 水曜 晴。

朝五時半起。坐行。課業如例。来客、杉浦幸子母。
杉浦氏より魚煎餅一箱。宗信楽院殿より鶏卵一箱。

一月廿五日 木曜 朝雨又雪。

朝六時起。坐行。課業如例。来客、片岡君子之母。

片岡氏よりはんへい一重。

*はんへい(半平)

一月廿六日 金曜 陰。

朝六時起。坐行。課業如例。此朝六時近火、小石川富坂町、暫時にして沈火ス。

*沈火(鎮火)

一月廿七日 土曜 陰。

朝五時半起て坐行。課業如例。来客、松野鉄千代、長松蒼子、米倉山子、森竹時得母同道。

此日、森竹時得退塾ス。沢愛山来。

受方摘要 森竹時江より五円。

森竹氏より瓦煎餅一箱。池田愛子より、みかん一箱。長松氏より干菓子一箱。米倉氏より

鶏卵一箱。松野氏より、すもし二重。

一月廿八日 日曜 晴。招待、井上大臣、午後四時半より。

朝六時起。坐行。午下二時より三条家へ出、治子君と暫時閑談、畢而四時過より井上内務大臣官邸ニ訪、大臣及夫人と毛利家之家政内情ヲ語られ、時ニ毛利元昭様御夫婦御入にて、又同様御談しに相成、美佐子様へ教授之事御依頼ニ相成、月々兩三度毛利家へ出向呉候様との事ニ付、承諾ス。晚餐ヲ食堂ニテ饗せらる。八時帰。此日、高鹿信子帰塾ス。

一月廿九日 月曜 晴。

朝五時起。坐行。課業如例。来客、二六新聞社。

斎藤兩人より、みかん一箱。

一月三十日 火曜 晴陰不定。跡見玉枝より被招。

孝明天皇御祭日。朝五時起。坐行。来客、島田三郎、信子。余、桃子、三時頃ヨリ散歩して玉枝ヲ訪フ。此時、重威、愛治郎、先在、神宮協会官長某モ在リ。岡倉妻始安富妻モ来、張宴、八雲琴及義太夫之余興アリ。九時、畢テ帰。

松平容保五十日祭之干菓子一箱。美濃遠藤より守口百本入粕漬一樽、同五十本入一樽。島田氏より菓子一箱。下婢みやより栗一盆。

一月三十一日 水曜

朝六時起。坐行。課業如例。来客、松の鉄千代。

松の鉄千代より宇都宮一夜水豆腐一箱、湯葉一箱。

払方摘要 雑費、六円九十銭。

*松の鉄千代(松野鉄千代) *松の鉄千代(松野鉄千代)

(二月会計、記載ナシ)

(二月)

二月一日 木曜 晴。

朝五時起。坐行。課業如例。横浜原氏ヨリ書至、昨朝、安子女子分娩ス。丸山俊子入門。大坂深見氏え干葡萄箱入、通運ニテ出ス。田村氏より西洋鐘詰二箇。

二月二日 金曜 朝雪、已而晴。毛利家行。

朝五時起。坐行。課業如例。午下一時より毛利新殿え参り、美佐君様御本絵画教授ス。六時帰。来客、宮崎氏。志賀、鉄千代結婚、弥来廿二日決定ス。佐野隠居、松の鉄千代来、一宿。石井初子帰塾ス。原氏え友仙産衣、鶏卵一箱ヲ祝ス。

跡見玉枝より白砂糖一箱、筍一盆。大坂木津跡見氏より氷豆腐一箱。佐野氏より、カステイラ大箱。

受方摘要 石井初子、五円。毛利新殿、千疋。

*松の鉄千代(松野鉄千代) *友仙産衣(友禅産衣)

二月三日 土曜 節分 晴。

朝五時起。坐行。課業如例。晡時、余、愛治郎ト同しく、近辺散歩して姉邸ニ行、八時過帰。松野鉄千代、画揮毫して帰。

二月四日 日曜 晴。堀田氏より招待、歌舞妓坐。

朝六時起。十時半頃ヨリ、余、桃子ト同しく歌舞妓座ニ劇ヲ観ル。堀田氏両嬢及お玉と五人也。終日極楽ヲ、夜九時帰。

*歌舞妓坐(歌舞伎座) *歌舞妓坐(歌舞伎座)

二月五日 月曜 晴。

朝六時起。坐行。課業如例。来客、二六社中人、中村元嘉細君。斎藤兩人より鰻蒲焼二箱。前田梅子、鶏卵一箱。中村氏より京都蒲鉾七枚。

二月六日 火曜 旧元日。晴。

朝六時起。課業如例。正午、戸田氏及閑院宮邸ニ詣シ、教授して、帰途、姉邸ニ行テ帰。来客、宮崎氏。

二月七日 水曜 晴。

朝六時起。課業如例。来客、大竹氏、鉄千代。志賀氏え結婚祝として鶏卵大折、七子一反。松野氏えハ鶏卵大折、御召縮緬一反、皆箱入。

大竹氏より鶏卵一箱。松野鉄千代より素麦一籠。

*素麦(蕎麦)

二月八日 木曜 朝ヨリ雨、実ニ膏雨也、可喜、午下晴。

朝五時起。坐行。課業如例。

二月九日 金曜 晴。

朝六時起。課業如例。晡時、訪姉邸、七時帰。

片岡氏出産祝、赤飯一重、松魚一折。

二月十日 土曜 晴。

朝五時起、坐行、課業如例。午下、徳川邸教授して帰。

徳川氏より花色ちゝふ半かち、外御細工物。

受方摘要 金五百疋。

*花色ちゝふ(花色秩父) *半かち(ハンカチ)

二月十一日 日曜 晴。

朝五時起。坐行。

斎藤兩人よりもなか一箱。森永時えより菓子一箱。中山正子より鶏卵一箱。

*もなか(最中)

二月十二日 月曜 晴。

朝六時起。坐行。課業如例。来客、松野鉄千代及加茂富子。

五島氏より松魚大一箱。

二月十三日 火曜 晴。

朝六時起。課業如例。午時ヨリ戸田氏及閑院宮様え教授して帰。

二月十四日 水曜 朝薄雪、已而晴。寒甚。

朝五時起。坐行。課業如例。来客、宮崎氏。宮崎氏母堂病氣ニ付、鶏卵大箱ヲ贈ル。大塚

陽子、此夜帰宅ス。

裏松玉林院全快祝、赤飯一重、鴨一番。尾越留子より干鮎一箱。大塚母より大橋せんへい、海苔一箱。

*大橋せんへい(大橋煎餅)

二月十五日 木曜 晴、風。

朝六時起。課業如例。朝墓参ス。愛治郎、宇都宮松野氏へ行、夜十時後、帰宅ス。余、晡時、姉邸二行、九時帰。御神宮新調落成、父の忌日ニ付、始テ祭典ヲ行フ。此御社及裝飾、三方、八束台、一切ニテ金八円。

姉小路蓮観院殿七回忌志、饅頭大箱。重たけより卷すし一重。

*八束台(八足台) *重たけ(重威)

二月十六日 金曜 朝あられ、已而晴、終日くもる。寒甚。

朝二時起。坐行。課業如例。小田原齋藤氏、熊本尾越留子え書寄ス。毛利御新殿不参ス。齋藤仁子より蒲鉾十二枚。九条家より兼子様御宮参り御祝鳥の子餅一重。

受方摘要 九条家より、一円。

*あられ(霰)

二月十七日 土曜 晴。

朝六時起。課業如例。午下片岡氏ヲ訪、松野氏ヲ訪テ、入夜帰。来客、陸軍大佐井上光。立花邦子様より書至。

井上光より十三有松しほり縮緬一反、菓子一箱。美濃青木久衛より、奈良漬五樽。

弘方摘要 岩崎え元金え払込、一百円。

*有松しほり(有松絞)

二月十八日 日曜 天気晴朗実ニ(以下、記述ナシ)

朝六時起。九時前より護国寺え参詣、故内大臣三条公御三年祭典也。十一時畢テ帰。午下、余、栄、鶴ヲ拉テ、上野勸工場ニ行。帰途、中井敬所氏え寄、篆刻依頼ス、已而帰。宮崎道正母死去ニ付、香奠金一円ヲ贈ル。

故宮内太夫万里小路博房殿十年祭ニ付、蒸菓子一箱。安田氏より保命酒一瓶。

*故内大臣(故内大臣) *故宮内太夫(故区内大夫)

二月十九日 月曜 晴。

朝六時起。課業如例。来客、池田孝子及其母、出産子晴江、松野鉄千代。

池田氏より鶏卵一箱。齋藤両人より蒸菓子一箱。

受方摘要 池田晴江より二円。

二月二十日 火曜 晴。朝地震。

朝六時起。坐行。課業如例。来客、久米節、町与、民十郎。井上光氏洋行二付、姉伯え贈り物ヲ托ス。

久米より十四ちふ縞一反、帯あけ二筋。

*ちふ縞(秩父縞) *帯あけ(帯揚)

二月廿一日 水曜 朝密雪紛々、已而晴。

朝六時起。坐行。課業如例。来客、此日、小林花子、同妹政子入塾ス。

二月廿二日 木曜 晴。

朝五時起。坐行。課業如例。此日、志賀重昂え松野鉄千代入輿二付、桃子其拵二行。愛治郎、千久ハ其媒妁人にて出向ル。午後六時、輿入、結婚之式頗ル盛大ニテ首尾能相斉ひ、十二時帰宅ス。

二月廿三日 金曜 晴。殊暖。

朝五時起。坐行。課業如例。午下毛利公え出教授して五時帰。立花氏より平貝一樽、半紙二束。

二月廿四日 土曜 晴。

朝五時起。坐行。課業如例。来客、佐久間元三郎。午下四時ヨリ往紅葉館ニ、志賀氏結婚之祝宴ヲ開カル。桃子も来、朝野紳士凡百名計、実盛宴也、十一時帰。伊藤子之松より、みかん。

受方摘要 佐久間氏より、一円。

二月廿五日 日曜 晴。

朝五時起。坐行。此日、献品之絹地小物揮毫ス。晡時、訪姉邸、夜十時帰。来客、松野るい子、今般之御礼ヲ伸らる。

松野老母より松魚一箱、十七御召縮緬三反箱入、十八仙台平袴地箱入。

二月廿六日 月曜 晴。

朝五時起。坐行。課業如例。来客、志賀氏。

松野氏より赤飯一重、松魚。斎藤両人より鶏二羽。

二月廿七日 火曜 晴。地震。

朝五時起。坐行。課業如例。正午、戸田氏ニテ教授して、田村氏ヲ訪ヒ、閑院宮邸ニ詣シ、

教授申上テ四時帰。来客、夜、玉枝。
奥村氏より白酒二瓶、イリく一重。
受方摘要 玉枝より五十銭。

二月廿八日 水曜 晴。

朝五時起。坐行。課業如例。

志賀氏より赤飯一重、松魚大折。

受方摘要 美術協会、千疋。

払方摘要 小紋染代、一円三十銭。

二月會計

払方摘要 十壹円八銭也。

(三月)

三月一日 木曜 晴。 総撰挙開票日。

朝五時起。坐行。課業如例。来客、松野るい子。此日、**雛大裏**飾付ル。江口菊女、此度嫁入ニ付、其祝として繡珍丸帯一筋、鶏卵一箱を贈ル。

*雛大裏 (雛内裏)

三月二日 金曜 午下雨、夜又雨。

朝六時起。課業如例。此日、志賀氏、松野氏親子会合ニ付、愛治郎、千久、午後四時より出向、夜十一時帰。此日、石神井村弘、とくと来、一泊ス。此夜、神田猿楽町、小石川戸崎町火。号外来、島田三郎氏勝利当撰ス。大塚陽子帰塾ス。

横浜原氏より生子宮参りニ付、紅白鶴の子餅一重、松魚一台。石神井高橋より**うと一束**。
新場**ば**より、イリく一重。大塚陽子より、すもし一皿。

*うと (独活) *ば (婆)

三月三日 土曜 陰晴不定、夜地震。

節句ニ付、休業ス。朝五時起、坐行。此朝、弘、高橋氏ト帰村ス。

出入魚屋より蛤、**さ**い一盆。森永時江より、すもし一重。

払方摘要 小紋染代、四円八十銭。

*さ (栄螺)

三月四日 日曜 晴。

朝六時起。岩国吉川氏、熊本大塚氏え書ヲ寄ス。来客、落合氏。午下、余、桃子ト近辺逍遙ス。昨日之雨に梅花も咲出、漸春色ヲ催し、好時節也。三時頃帰。

志賀氏より大鯉一尾。

弘方摘要 陽子心附、一月、二月分、二円。

三月五日 月曜 雨、地震。

朝五時起。坐行。課業如例。来客、別府徳子。

安田氏より赤蕪漬一箱。別府氏より菓子一箱。広田氏より蒸菓子一箱、漬物三曲。

三月六日 火曜 陰。

朝五時起。坐行。課業如例。午下戸田氏え行、岩倉家、松野氏、志賀氏え行テ、点灯頃帰。

三月七日 水曜 雨陰。

朝五時起。坐行。課業如例。来客、武井氏、中井敬所。

花堂 採花 花雲 花月 愛花 花処 吟花 花彩 花塘 花章

右之者え印章ヲ贈ル。

筑後柳川立花氏え半切三枚、扇面地三枚、石印三顆、画筆六本、及書ヲ寄ス。

中井氏より菓子一箱。武井氏より菓子一箱。下総やより漬物一樽。

三月八日 木曜 朝ヨリ雪紛々、終日不止。

朝五時起。座行。課業如例。此日、稽古仕舞(に)より、塾生帰宅ス。

三月九日 金曜 朝細雨、終日天陰、午後六時頃ヨ(リ)雨降出し、終夜降続。 銀婚大典式。

朝五時起。坐行。表門ニ提灯三張掲ケ、国旗ヲ揚ル。来客、岩浪稲子来。

岩浪氏より糟漬一樽、さゝれいし大鐘詰、縮緬帛紗地。南条氏、帯の祝、赤飯一重、かつ魚ふし。

*かつ魚ふし(鯉節)

三月十日 土曜 終日雨。

朝五時起。坐行。終日揮毫する。来客、築井千代筒、環来。環退校ス。横浜井上松女来、一宿。志賀重昂、同鉄千代来。此夜、有約、姉邸え行。岩浪稲子先在、九時迄咄して、同時帰。熊本尾越留子より書及月謝来。

余、開校テより此日に至り、法帖揮毫一万帖ニ至ル。一万号、小菊典侍園祥子也。井上松女より菓子一箱。小田切音羽より菓子一箱。

受方摘要 築井環より、一円。

*築井千代筒(築井千代司)

三月十一日 日曜 終日雨。

朝三時起。坐行。来客、朝、重威来、井上松女帰浜ス。青山御所、若松典侍え法帖三冊、同糸桜内侍え謡目録二百番揮毫して上ル。皆応需也。

大塚益郎より越の雪二重箱。角田氏より松魚一箱。森永氏より主上御下鯛麵御料理。

三月十二日 月曜 晴。

朝六時起。課業如例。来客、宮崎道正。

宮沢沢子より**ほいろ**昆布一罐、半襟、**まけ懸**二ツ。斎藤兩人より砂糖一袋。

*ほいろ(焙炉) *まけ懸(鬚懸)

三月十三日 火曜 晴、風。

朝六時起。課業如例。午時、戸田氏ニ教授して、閑院宮邸ニ詣し、御稽古申上て、北白川宮邸ニ詣ス。御息所御不在ニテ、五時頃迄、吉野こう、いね、仲など、咄して帰ル。来客、

広田細君千代子、来ル十六日養子貰受、結婚式を挙るよしニ付、退校願出ル。

広田氏より干菓子二重箱入。

受方摘要 広田氏より、廿円。

三月十四日 水曜 晴。

朝六時起。課業如例。広田千代子結婚祝として、松魚一箱、御召縮緬一反箱入。

三月十五日 木曜 雨。

朝六時起。課業如例。

三月十六日 金曜 晴。

朝六時起。課業如例。午早々毛利邸ニ往、元徳公、及元昭、六郎ノ三君ニ謁ス。暫時談話ス。美佐子君教授して四時後去、日暮帰。広田千代子結婚之当日也。来客、成田菊。此度英学全廢ニ付、サンマース・カセ、レ、ン、工藤氏、教員解雇ス。

藤袴内侍より銀婚御式献上の**美淋**一桶。御寺御所より**白縁豆**二袋、昆布。成田菊より鶏卵一箱、しそ巻、漬物一箱。

*美淋(味淋) *白縁豆(白豌豆)

三月十七日 土曜 彼岸入。晴。

朝六時起。課業如例。午下揮毫物ス。来客、蒲生重章。

蒲生氏より越の雪一箱。牛込幸子より鯛、蛤、蒲鉾。

受方摘要 蒲生氏より一円。

三月十八日 日曜 晴。

朝六時起。九時ヨリ姉邸ヲ訪フ、喫昼餐而帰。
石山氏より草の餅一重。

三月十九日 月曜 晴、夜暴風。

朝五時起。坐行、課業如例。両大師安井氏より依頼、柳谷観世音大額揮毫ス。
下婢茂の娘より竹の子七本。

三月二十日 火曜 春季皇霊祭。晴無風、朝風甚。

朝六時起。此日、田村氏有約。朝十時ヨリ田畑田村氏別荘ニ行。梅花宴ヲ設ラル。閑院宮
殿下、被為成筈、俄ニ御断ニ相成。山島氏之馬之連中及梅若氏謡之連中之客也。庭園之梅
花満開、一日之楽境也。六時帰。

五軒町跡見より、すもし一箱。森永時えより蒲鉾二枚、らつきやう一瓶。
*田畑(田端)

三月廿一日 水曜 晴。

朝六時起。課業如例。来客、吉川真佐子夫人。
吉川真佐子より、かすていら一箱。池田愛子より、すもし一重。

受方摘要 吉川氏より千疋。
*かすていら(カステイラ)

三月廿二日 木曜 晴。夜七時過、地震。又夜半火。

朝六時起。課業如例。四時頃より、余、愛治郎、千久子、桃子と同しく、近辺野辺逍遙し
て、梅花ヲたつぬ。小石川瓦山辺之梅花、実ニ雪中を行か如し。黄昏の花又妙、入夜帰。
安田氏より萩の餅一重。塾中え切ため三重。大塚陽子母よりせんへい一袋。

*小石川瓦山(小石川丸山) *切ため(切溜) *せんへい(煎餅)

三月廿三日 金曜 晴。

朝六時起。課業如例。以此日、試験全結了ス。生徒帰宅ス。岩浪稲子、明朝六時汽車ニテ
帰坂、餞別として糸織一反ヲ贈ル。

漢学本科卒業生

西村菊子

加茂玉江

伊沢浦子

英学本科三年卒業

浅田幸子

角田四三子

同 千枝子

紅林町子

中村敬子

山崎丑栄

千家国子

小林茂子

広田氏より鶴の子餅一重、交肴一籠、十九白縮緬一反。

三月廿四日 土曜 晴。

朝六時起。午下、徳川邸ニ参り、良子、富子両君ニ教授して帰。帰途、今戸成田氏ヲ訪フ。此坐敷、墨堤ニ相對し、桜の正ニ萌出んとする時候にて、風色尤妙、入夜而帰。此朝、渡辺松子、母ト同道来、此日ヨリ松子食客ス。

徳川良子様より廿有松しほり一反、一閑菓子器、瀬戸ふた物。渡辺氏ヨリ、菓子、手遊。

*有松しほり(有松絞) *瀬戸ふた物(瀬戸蓋物)

三月廿五日 日曜 晴又雨、夜豪雨。

朝六時起。揮毫ス。晚五軒町え行、九時帰。来客、原富太郎。

三月廿六日 月曜 晴又雨。

朝六時起。余、桃子ト同道、九時ヨリ明治坐ニ観劇、牛込氏招待也。夜八時帰。来客、堤淑子此度、縁段治定ニ付、暇乞ニ来ル、宇都宮高子子供頼来ル。

宇都宮氏より鶏卵一箱。横浜渡辺福三郎より鶏卵一箱。宮崎道正より香奠返し菓子一箱、茶一箱。

*縁段(縁談)

三月廿七日 火曜 晴。 此日ヨリ教授始ヲナス。

朝六時起。課業如例。教授ハ和、漢。算術学ヲ休み、其外如旧。来客、亜米利加人新渡戸氏の細君ト今耆人米人、及日本女子通弁ト參觀ス。落合、増田、渡辺三氏来。余、正午ヨリ戸田氏及閑院宮様え教授して、五時帰。島田信子来。

安田氏ヨリ菓子一箱、御料理二箱。斎藤兩人より鰻一箱。小田原斎藤仁子より干鮎。島田氏より、きぬ糸一箱。

三月廿八日 水曜 朝晴又雨。

朝六時起。課業如例。庭中桜花始開。

三月廿九日 木曜 朝晴、午下雷鳴、已而晴。

朝六時起。課業如例。来客、広田細君及武子来、入塾ス。藤堂良子。横浜渡辺玉及政子来、政子入塾ス。

広田氏より松魚一箱。渡辺氏より鶏卵一箱、するめ三十枚、九谷湯呑、半襟一懸。

受方摘要 広田氏より一円。渡辺氏より五円。

三月三十日 金曜 晴朗。

朝六時起。課業如例。来客、長沢万寿、栄子退校願出ル。

園二位より御所より拝領の大鯛一尾、海老五疋。長沢氏より砂糖。

三月三十一日 土曜 晴。

朝六時起。八時ヨリ生徒一同書画会ヲ設ク。十二時全畢。午下、寄宿生帰宅ヲ許ス。

(三月会計、記載ナシ)

(四月)

四月一日 日曜 晴朗。休業。

朝五時前起。坐行ス。畢而散行、江戸川の花を観る。先五分の咲なり。道すから所々の花を見る。

春毎に花見る花ハ花なからいかたのしきさくらなるらむ

江戸川橋の上ヨリ川の上下を見渡すに、実に此風色又たくひなく、姉邸ニ寄、茶をたうへて一息して又散歩して帰る。午下、余、愛治郎、桃子、栄子と同じく散歩して、東台の花見ニ行。道すから大学の園中の花を見、上野の花を見る。花始て咲揃ふ。其花を見る人の多き事おそろしきまてにて、動物園の前の茶亭に憩ひ、花と人との雑沓のみ。又散歩逍遙して帰る。

此日、戸田忠行子の女鍬子入門ス。

*たうへて(食べて)

四月二日 月曜 晴。休業。

朝五時前起。坐行ス。午下、生徒等ヲ拉テ植物園の桜花を見る。実満開、筆に言葉に及はぬほとの見に限、花のしら雲、又は古松の間ニ白雲の起るかとおもふ斗に咲出たるも有り。花のもとにあくかれて、行も帰るも只あゝと斗也。三時半頃帰る。来客、福田重国妻、長沢栄子退校ス。午下四時ヨリ桃子の催にて、講堂露台にて観桜の宴ヲ設ク。余等客となる。此台より園中之花一面、白雲中ニ坐するか如し。四方の山々の花も遠近の眺望もよし。黄昏頃済テ楼を下ル。夜七時頃、神田火。

横浜原善三郎より孫女の初節句ニ付、松魚一台、菱かちん箱入、白酒二瓶。福田氏より鶏卵一箱、菓子一箱。江川孝左衛門より赤飯一重。

*ほと(程)

四月三日 火曜 晴。
朝五時前起。脩行ス。来客、田村蝶子、盛子入門。千家信子入塾。桜井千代子入塾。庭桜満開。

田村氏より廿一白一染織一反、二帯地一本、带上、帯しめ、絹半ケチ一箱、かんさし二本。横浜原氏より料理。宗績子より鶏卵一箱。藤袴様よりほいろ昆布一罐、御蒸菓子、土筆。桜井氏、蒸菓子一箱。

受方摘要 田村氏より千疋。千家信子より三円。

*帯しめ(帯締) *絹半ケチ(絹ハンカチ) *かんさし(簪) *ほいろ昆布(焙炉昆布)

四月四日 水曜 晴。七十二度。

朝五時前起。脩行ス。課業始をナス。来客、島田信子、塩原登代子入塾ス、山口梅子。庭桜花、散初る。

齋藤氏より蒸菓子一箱。山口梅子より、カル、ス煎餅一罐。

*ナス(成ス)

四月五日 木曜 晴、午下暴風、花散乱、如雪。

朝四時起。脩行。畢而五時ヨリ向島に観花。水面朝霞に模糊として無限。桜花、以此日尤盛とす。朝露を含みたるに、朝日ニにほふ此桜花を愛る、いとたのしみの極み也。花の限りを見尽して帰る。時、七時也。石川くら、田口安、山県孝入塾。松原節子通学入門。

五時頃、姉邸重威ノ先祖祭典ニ付、余、千久、桃、陽卜参詣、参集人大勢、盛会、夜八時帰。時、赤坂出火。

若松典侍、糸桜内侍より廿二八丈島一反。豊田市蔵より、あられ一重。

*八丈島(八丈縞)

四月六日 金曜 雨。

朝五時起。脩行。課業如例。入門、斯波滋子。入塾、中山安子。斯波氏より、カステイラ一箱。

四月七日 土曜 雨。

朝五時起。脩行ス。課業如例。

四月八日 日曜 雨。

朝五時起。脩行ス。午下一時ヨリ、余、毛利式子と同しく、高輪毛利様園遊会ニ出、七時頃帰。雨尤甚。明九日出度ニテ大繁忙、然し雨模様也。園中ニ小屋懸舞台、茶店等準備ス。

桜井吉子、桜井時子帰塾ス。

桜井より西洋菓子一箱。

*出度(支度)

四月九日 月曜 雨。

朝五時起。修行ス。雨無止時。俄ニ講堂楼上に舞台、食堂ヲ設ク。造花、桜折枝二百本ニ金銀ノ短冊一万帖と書して食堂ノ上ニ掲ク。小提灯も同じく掲ク。午下一時ヨリ続々来客、講堂ノ盛、実可驚、二百名余也。余興、三遊亭園遊ノ連十人計参り、相連ニ演芸ス。又食堂の雑沓不可言。皆尽歎テ五時去。夜又塾生一同講堂ニ会シ、演芸ス、九時全畢。

此日目錄之分、百廿五円也。品物(以下、記述ナシ)。

*三遊亭園遊(三遊亭円遊)

四月十日 火曜 朝雨、陰晴不定。臨時休業ス。

朝五時起。修行ス。雨小霽ニテ、又園中ニ茶亭ヲ設ク。塾生園遊会ヲナス。余、微怠。来客、土井市松、早苗。

土井氏より松魚大折、廿四萌黄鍛子五丈、巻物一箱、廿五壁羽二重一反。

*微怠(微恙) *萌黄鍛子(萌葱緞子)

四月十一日 水曜 晴。

朝五時起。修行ス。課業如例。宇都宮桃枝入門。来客、三好長子。三好長子より秋田落雁一箱。

四月十二日 木曜 晴。

朝五時前起。課業如例。野口くみ子入門。

来客、平尾竹子、夜、渡辺松子母。

平尾竹子より松魚券二円。渡辺松子母より、ひらめ一尾。永富★(金十堅)より、松魚一折。

四月十三日 金曜 雨。

朝五時前起。修行。課業如例。

来客、近藤香恵子伯父近藤権右衛門。

近藤権右衛門より松魚、椎茸。中島千恵子より松魚一箱。

四月十四日 土曜 晴。

朝五時前起。修行。課業如例。

下部忠藏よりうと一包。

*うと(独活)

四月十五日 日曜 晴。
朝五時前起。修行。此朝、墓参シテ、五軒町姉邸ニ行テ帰。

四月十六日 月曜 晴、風。
朝五時前起。修行。課業如例。

四月十七日 火曜 晴。
朝五時前起。修行。課業如例。午下、戸田邸ニ行。教授して、姉邸ニ行テ帰。
来客、長谷川千賀子、佐藤利尾、加茂水穂来。静江退校ス。紅林町子退校。
加茂氏より松魚一箱。稲葉隆子より鶏卵一箱。長谷川千賀より鶏卵一箱。佐藤利尾より鶏卵一箱。大塚陽子より**そは**一籠、かつらほし。
*そは(蕎麦)

四月十八日 水曜 晴。
朝五時前起。修行。課業如例。西京御寺御所及稲田西念寺え書及物品ヲ贈ル。午下五時過より、余、散歩して姉邸ヲ訪テ帰。下婢徳、暇ヲ出ス。
下婢豊田大より鶏卵五つと、**味噌つけ**。
*味噌つけ(味噌漬)

四月十九日 木曜 朝霞深、不弁咫尺、晴。
午前一時ヨリ起、修行ス。課業如例。来客、大塚由成、永井市女。
角田四三子より廿六糸織一反。永井市女より筍五本。大塚由成より菓子一箱、朝鮮飴、帛紗一。

四月二十日 金曜 陰。
朝五時前起。修行ス。課業如例。午下、毛利家ニ教授して、本殿え参り、元徳様、安子様と閑談ス。此時、井上大臣御出ニテ、又暫時談話ス。已而帰。帰途、山城館ニ土井氏ヲ訪。暫時して入夜帰。折田親子退校ス。
折田氏より蒸菓子一箱。

四月廿一日 土曜 晴又陰。
朝五時起。修行。課業如例。午下、徳川家え参り富子様教授して帰。
千家国子より鶏卵大折。

四月廿二日 日曜 晴。

朝六時起。此日、土井早苗誘引して、塾室母ヲ拉して、隅田川新緑ヲ見る。揚場ヨリ泛舟、茗溪之辺之新樹又可賞。馬屋橋ニ繫舟、安田氏ヲ訪。氏ヨリ鮎及言問団子、菓子など積舟。天朗気清、墨隄桜樹緑如滴、遂橋場之渡ヨリ上陸して、土手ヲ逍遙して、八州園中ニ遊ひ、又上舟、終日之歡樂無極。日暮、水道橋ニ着而帰。来客、木内礪路、伊藤定子、及母、谷菅子。

谷菅子より、すもし、大食籠。木内礪路より菓子一箱。久米氏より竹の子十五本。岩倉家より竹の子五本。伊藤定子より、廿七ちふ絹一反。
受方摘要 伊藤氏より一円。

*馬屋橋(厩橋) *ちふ絹(秩父絹)

四月廿三日 月曜 雨。

朝六時起。課業如例。

齋藤氏より、カステイラ一箱。

四月廿四日 火曜 朝雨、十時頃ヨリ晴。

朝六時起。課業如例。午下、戸田氏、閑院宮ニ詣し、教授して、帰途、姉邸ニ寄而帰。

四月廿五日 水曜 朝雨、已而晴。

朝五時起。課業如例。来客、土井市松、早苗帰国ニ付、暇乞ニ来る。餞別として御召縮緬箱入一反、縫模様袱紗、宇都宮高子其母及弟の嫁来ル。島田三郎子息孝一、初節句ニ付、楠公武者人形箱入、鶏卵大箱ヲ贈ル。片山鶴及下婢兼来ル。

大塚豊子より鱈の田夫二曲。宇都宮氏より菓子一箱。下婢かねより鶏卵一箱。

*鱈の田夫(鱈の田麩) *かね(兼)

四月廿六日 木曜 終日雨。

朝五時起。課業如例。

横浜原氏より赤飯一重。

四月廿七日 金曜

朝五時起。課業如例。

四月廿八日 土曜 晴、四時頃雨、已而晴。 跡見玉枝之応招、午後五時ヨリ。朝五時起。課業如例。午下、貴婦人会ニ会ス、四時帰。五時ヨリ玉枝之宅ニ行、閑談ス。七時過帰。

齋藤氏より蓬団子五重。

四月廿九日 日曜 陰晴不定。安田氏之招ニ応ス、午下三時。朝五時起。生徒等朝ヨリ安田氏行之準備ス。午下一時ヨリ茗溪迄車ニテ運送ス。此行、廿三人也。大屋形船ヲ裝飾して行。三時着。安田氏夫婦迎來、先新築洋館ニ招ス。此館也、実ニ善尽し美尽し、裝飾之結構、可驚目。二層、三層楼、所々に茶菓或ハ寿もしなどにて、觀覽ニ余念なし。畢而園中逍遙して、日本館ニテ晚餐ヲ饗せられる。余興、如燕演史、墨田川乗切、阿部豊後、其外三番。畢而校書之躍舞有り。九時過、尽歛而、又上船而笑語中、十一時歸。

永井市より菓子一箱。斎藤氏より蒸菓子大箱。

四月三十日 月曜 雨。

朝五時起。課業如例。

稲垣氏より、すもし三重。

払方摘要 雜費八円四十五錢。陽子え三、四、二ヶ月分、二円遣ス。

(四月會計、記載ナシ)

(五月)

五月一日 火曜 雨。

朝四時過起。課業如例。午早々戸田氏ニ教授して、閑院宮御息所ニ教授して、小松宮八重君ニ教授して、晚餐ヲ戴テ、八時歸。入門、田島春子。

田村氏より糸細工袋物、家内一同え種々物。池田愛子より稻荷すし一重。五軒町重威より、すもし一重。

五月二日 水曜 晴。

朝四時過起。課業如例。四時過より栄子ヲ拉して墓參ス。五軒町姉邸ヲ訪ヒ、晡時歸。受方摘要 玉枝より五十錢。

五月三日 木曜 晴。

朝四時過起。課業如例。入門、中浜糸子、佐藤初子。

五月四日 金曜 終日豪雨、日暮全晴。毛利公爵行、雨中ニ付、休。

朝三時前起。脩行。課業如例。横浜原氏ヨリ**応紹待状**來。甲州里吉氏え統地及小紙書画ヲ出ス。

島田三郎より柏餅一重、松魚一台。

*〔応(ママ)〕紹待状

五月五日 土曜 晴朗。 徳川公爵行、休。

朝四時起。修行。課業如例。余、正午三十五分汽車ニテ横浜茂木氏ヲ訪。良太郎児、成育之早き、歩行モ自由、頗壯健、可喜。夫ヨリ原氏^え行、当年生産之春子も母似にて壯健也。幟、武者人形も見事ニ飾付、盛也事也。六時之汽車ニテ帰。

閑院宮殿下ヨリ、習志野之早蕨、ジネンジャウ。万里小路よりかしわ餅。

*也(なる) *ジネンジャウ(自然薯) *かしわ餅(柏餅)

五月六日 日曜 晴朗。

朝二時過起。修行ス。此朝、愛治郎、泰事、石神井弘ヲ訪、日暮帰。来客、吉田伝左衛門、桜井氏。入塾、桜井しく、桜井むね、吉田はつ子。

山県幸子より赤腹干魚。園家より草のかちん一重。毛利奥山はなより鶏卵一箱、絹はんかち半ダース箱入、縮緬袱紗。

受方摘要 吉田はつ、桜井しく、桜井むね、三円。

*絹はんかち(絹ハンカチ)

五月七日 月曜 雨。

朝四時起。修行。課業如例。入塾、秋沢仲子。来客、桜井時子父。齋藤兩人より菓子一重。

五月八日 火曜 雨。

朝四時起。修行。課業如例。午下戸田家ニ教授して、閑院宮御息所^え御教授申上て帰。帰途、姉邸ヲ訪テ帰。

前田梅子より竹の子。

五月九日 水曜 小雨。

朝二時起。修行。課業如例。午下小松宮御息所^え教授申上て、五時過帰。来客、佐藤保之女とせ子荻野氏^え嫁して女子出産、其女兒ヲ拉して来、尾道橋本太吉弟宗治郎来。

荻野とせ子より廿八足利御召一反。

払方摘要 愛治郎^え印刻料、三円払込。

五月十日 木曜 雨。

朝五時起。課業如例。来客、原三幸。

原三幸より熊本白島石茶器、五岳画扇子。稲垣氏より干大根、菓子一箱。

五月十一日 金曜 天始晴。

朝五時起。課業如例。午下、三条邸ニ詣シ、資君様ニ謁シ、閑談移時、去テ毛利邸ニ美佐子君教授して帰。

広田氏より菓子鐘入。佐藤朝江より朝鮮飴一箱。

五月十二日 土曜 陰。

朝二時起。修行。課業如例。来客、橋本氏、食客ス。

齋藤氏より柏餅沢山。

弘方摘要 フランネル代、仕立代共、四円。

五月十三日 日曜 晴天。

朝二時起。修行。午前十時より、余、愛治郎、及千久、桃子と同しく、田村氏招待ニ応して歌舞伎座へ行。日蓮記通し。終日観劇して、夜八時過帰。

弘方摘要 小費、廿銭。

五月十四日 月曜 終日陰。

朝二時起。修行。課業如例。

万里小路より、すもし一重。石山氏より鶏卵一箱。

五月十五日 火曜 終日陰、暴風。

朝四時起。修行。課業如例。午時、戸田氏ニ教授して、田村利久仁之病ヲ問フ。田村氏茶室之炭入ニ蟻ノ塔ヲ見ル。奇々妙々也。夫ヨリ閑院宮御息所之御稽古申上て、五時帰。来客、大坂九条中島一治及岡本太兵衛。入塾、杉本女嘉子。

中島氏より廿九白木綿一反、菓子一箱。杉本氏より松魚一箱。

五月十六日 水曜 陰。

朝四時起。修行。課業如例。午下、小松宮御息所御教授申上て、五時帰。入塾、名郷ふか子。

五月十七日 木曜 陰風。

朝四時起。修行。課業如例。四時頃ヨリ、余、愛治郎、桃子と同しく、本郷近方逍遙して、日暮帰。来客、中島一治、佐野新子。入学、野村峰子。

佐野氏より松魚一折、菓子一箱。

*近方(近傍)

五月十八日 金曜 雨。

朝四時起。修行。課業如例。來客、西村菊子母。菊子退校ス。
西村菊子より三十糸織一反、蒸菓子一箱。竹山静子より奉書一束。

五月十九日 土曜 朝霧深、已而晴。
朝五時起。修行。課業如例。

五月二十日 日曜 晴朗。
休業。朝八時ヨリ、余、愛治郎、石山氏、橋本氏ト同しく、歩テ王子ニ行。滝之川之新緑尤好。秋色ニ比してハ人影少ク、実閑雅。紅葉亭ニ憩イ、昼餐ヲ命シ、寛々喫シテ去テ稻荷社ニ詣シ、転して名主の滝ヲ觀、乗挽車テ帰、午後二時也。

*乗挽車(乗腕車)

五月廿一日 月曜 晴風。
朝四時起。修行。課業如例。午下四時より、余、愛治郎、千久子、泰児と五軒町姉邸ニ行。此日也、先君宰相中将殿御忌日ニ付、御靈ニ参拜ス。喫晚餐而帰。來客、井上市兵衛一宿ス、小林茂子、其母茂子退校ス、小林政子退校ス。
齋藤兩人より石衣一重。渡辺増子より瓦せんへい一箱。井上氏より菊水菓子一箱、求肥、

昆布一箱。小林氏より鶏卵一箱。

*瓦せんへい(瓦煎餅)

五月廿二日 火曜 雨。
朝四時起。修行。課業如例。朝ヨリ雨ニテ、戸田、閑院宮、小松宮教授御断申上ル。此日、井上氏帰港ス。

五月廿三日 水曜 晴。
朝四時起。修行。課業如例。正午より閑院宮ニ詣シ、御教授申上テ、小松宮ニ詣シ、教授ス。六時去而帰。
弘方摘要 染物、紹中色、五十銭。

五月廿四日 木曜 晴。
朝三時起。修行ス。四時、余、陽子と同しく、氷川神社ニ参詣して帰。課業如例。

五月廿五日 金曜 晴。
朝四時起。課業如例。正午より戸田氏へ行、教授して、田村利久仁之病ヲ訪、已而帰。

五月廿六日 土曜 晴。

朝四時起。氷川神社ニ参詣して帰。課業如例。来客、高岡氏。
中山勝子より、かきかちん一文庫。

五月廿七日 日曜 晴。

朝六時起。休業。於講堂ニ演台ヲ設ケ、後ニ紅白之幕ヲ張り、生徒、琴之温習ヲ執行ス。
午前十時ヨリ始リ、午後六時畢。午下三時、中入。赤飯煮しめヲ出ス。来客、重威、入門
願出ル。

山県氏より**ほいろ昆布**一罐、羊羹一箱。

*ほいろ昆布(焙炉昆布)

五月廿八日 月曜 晴。 皇后宮地久節ニ付、休業。

朝四時起。氷川神社ニ参詣ス。午下、貴婦人会ニ会ス。御法主東上ニテ、親教聴聞ス。南
条、渥見氏法話もあり。畢而帰。来客、**入沢郡子**、外ニ同伴人。

入沢氏より葡萄酒二瓶。

*入沢郡子(入沢群子)

五月廿九日 火曜 晴、風。

朝五時起。課業如例。正午ヨリ戸田氏ニ行、教授して、小松宮御息所ニ御教授申上て、四
時帰。来客、田村利七。夜、玉枝来。福田芳子母来、芳子退校願出ル。

名郷氏より飴菓子一箱。森永氏より味附海苔一罐。福田氏より鶏卵一箱、菓子一箱。

五月三十日 水曜 細雨、已而晴天。

朝三時半起。氷川神社ニ参詣ス。課業如例。晡時、訪姉邸、帰。福田芳退校ス。

五月三十一日 木曜 晴朗。

朝五時起。課業如例。来客、大谷光瑩法主使赤松梁正来。関尚子父、入塾願出ル。

大谷法主より鶏卵大箱。石神井村材木やより松魚一箱。

受方摘要 大谷法主より五円。

払方摘要 五月中入費、十円。

五月會計

一月より五月中生徒入学者、寄宿生十九人、通学生九人。

一月より五月中退校生、寄宿生十四人、通学生十二人。

(六月)

六月一日 金曜 晴。

朝四時起。氷川神社及墓参して帰。宝前朝清めして、課業如例。入塾、関尚子、金沢芳子。入門、三井久米。午下、毛利邸ニ教授して帰。田村氏より夏の前掛。

六月二日 土曜 晴。突然国会解散。

朝五時起。課業如例。午時、余、愛治郎、千久、桃子、墓参ス。夫ヨリ五軒町二行、重孝一周年祭典執行。昼餐ヲ饗ス。五時皆帰。入門、酒井藤子。来客、高岡弥太郎。田口安子より鶏卵。安田善治郎より松魚一箱、鳥の子餅一箱。受方摘要 酒井藤子より五十銭。

六月三日 日曜 雨。

朝二時起。修行ス。九時より徳川邸ニ教授して十二時後、帰。

六月四日 月曜 雨。

朝五時起。課業如例。来客、堀田道貫、其姪入門願来ル。齋藤兩人より葛もち一重、大福一重。

*葛もち(葛餅)

六月五日 火曜 朝晴又陰、午下三時頃ヨリ俄然黒雲襲来、雷鳴霹靂、天に轟き、大雨覆

盆。落雷ニケ所、伝通院門前、小島ノ門前、三崎神社天水桶。

朝五時起。課業如例。正午より戸田氏ニ教授して、閑院宮御息所御教授申上ル。此日、**すとうふかくし**御画御落製。砂子降。已而畢後五時去、島田三郎子ヲ訪怪我追々**悟方**也、五軒町姉邸ヲ訪而帰。入塾、永野多津子。

受方摘要 玉枝より五十銭。

*すとうふかくし(ストーブ隠) *悟方(快方)

六月六日 水曜 晴。

朝五時起。課業如例。午下、小松宮殿に御息所教授して、帰途、山県氏ニ松子ヲ訪、暫時談話して帰。

石川千枝祖母より菓子一箱。万里小路より、すもし一重。

六月七日 木曜 晴。母之祥忌ニ付、祭典執行。

朝四時起。課業如例。入門、北垣順子。柳川立花邦子、九条恵子、書ヲ寄ス。来客、加茂玉江、静江、中島智恵子其母と来ル。此度、村田氏ニ嫁ス、其暇乞也。

五軒町重威より、すもし二重。加茂氏より鶏卵一箱。中島氏より鶏卵一箱。
受方摘要 中島氏より、五円。

六月八日 金曜 朝雨、午下霽。

朝五時起。課業如例。真浄寺田福寿、五月三十日頓死ス。香料壺円ヲ備ル。

田村利久二本復祝、松魚一円、鶴の子餅一箱。松平鱗子より日光羊羹十五箱。

弘方摘要 大塚陽子え五月、六月分、二円。

*田村利久二(田村利久仁)

六月九日 土曜 晴朗。

朝四時過起。課業如例。晡時、余、生徒ヲ拉して氷川田甫二逍遙ス。夕陽之景妙絶。已而

帰。泰児、石神井村弘児ヲ訪、此夜一宿。

中村敬子より、すもし一重。

六月十日 日曜 晴。

朝六時起。諸事休業。

森永氏より菓子一文庫。

六月十一日 月曜 入梅、晴。八十四度、熱甚。

朝四時起。修行。課業如例。午前一時、湯島辺火。

齋藤氏より菓子一箱。福田嘉子よりさばのすもし五本。

*さば(鯖)

六月十二日 火曜 雨。

朝四時起。課業如例。来客、三条家能勢基章、末子様御入塾願来ル。

三村松子よりいすら梅、枝なり。

*いすら梅(ゆすら梅)

六月十三日 水曜 陰。

朝四時起。課業如例。正午、戸田氏二行、教授済て、田村氏ヲ訪フ而、小松若宮邸ニ詣し、

御息所教授して、後藤夫人来、良暫閑談して、五時過帰。又五軒町姉邸ヲ訪、入夜而帰。

伊国姉伯より書至。

六月十四日 木曜 晴。

朝四時過起。課業如例。

六月十五日 金曜 晴。九十四度。 父命祥忌祭典。

朝四時起。課業如例。朝ヨリ神前裝飾、祭典執行ス。 来客、岡崎孝丸子。
広田武子より赤飯一重。重威ヨリ**むし豆**一重。

*むし豆(蒸豆)

六月十六日 土曜 晴。九十二度。

朝四時過起。課業如例。晡時より生徒半分ヲ拉して、**蓮地園**ニ菖蒲ヲ観ル。実ニ奇麗**無究**、
月又清光、歩月而帰。
佐藤姑子より鮎二籠。

*蓮地園(蓮池園) *無究(無極)

六月十七日 日曜 晴。

朝四時前起。余、桃子と同じく、新橋一番汽車五時五十分ニ乗て、鎌倉二行。大舟乗替な
し、鎌倉ニ着、握車ヲ命て八幡宮に参詣、御国之安穩ヲ祈願して、三橋田村氏ヲ訪フ。一
同喜甚。午前、長子、増、其外と同道にて、海原ニ**逍遙**ス。久々の海浜之遊、爽快ヲ極む。
十二時頃帰ル。**午不**、余、桃子、金雄、原田氏、五作ト同じく、六時七分鎌倉発車にて帰。
三条末子入塾。

中山安子より**錫**五十枚。

受方摘要 三条末子より千疋。

*逍遙(逍遙) *午不(午下) *錫(錫)

六月十八日 月曜 晴。

朝五時起。課業如例。来客、志賀鉄千代、桜井直蔵。

齋藤氏より枇杷一籠、小田原**柚もち**五箱、菓子豆三袋。志賀氏より枇杷一籠、煮梅一重。

佐久間氏より蒸菓子一箱。桜井氏より、カステイラ。

*柚もち(柚餅)

六月十九日 火曜 晴。八十六度、熱甚。 半日教授執行。

朝四時起。課業如例。正午、戸田氏二行、教授して、田村氏ヲ訪ヒ、小松若宮御息所教授、
畢而五軒町ヲ訪而帰。此夕、小松八重君様、蓮池園え成らせられ候ニ付、余モ参、御観覧
有て、同じく野辺御歩行、余之門前迄成らせられ候。乗馬にて御帰り也。

六月二十日 水曜 晴。

朝四時起。課業如例。午下二時五分、轟然地震。余、画室ニアリ、無暗ニ素足にて塾ニか
け付ル。生徒一同無事、運動場ニ出ル。先安心。塾壁落所々、壁不落処ハ**亀烈**ス。実ニ劇
震、余生るゝより始也。生徒之宅より人々かけ付来。或ハ馬にて来、随分雑沓也。皆々無

恙ヲ喜躍して帰ル。此夜、塾雨戸明はなし、表之人々運動場にて徹夜ス。飛電及書状見舞不堪。地震中、深川辺大火。

大塚陽子より蒸菓子一箱。毛利万子より、うちわ三本、**帯しめ箱**入。

*亀烈(亀裂) *明はなし(開放) *不堪(不断) *帯しめ(帯締)

六月廿一日 木曜 晴。

朝五時起。課業如例。朝より所々電報書状等、**困雜**不可言。此夜も塾雨戸**明放し**、表之人々通夜ス。此夕、日本橋**おやち橋**辺火、夜中湯島火。来客、中村元嘉、重威来。京都近万より**八坂もち**一箱、赤大根漬もの。

*困雜(混雜) *明放し(開放し) *おやち橋(親父橋) *八坂もち(八坂餅)

六月廿二日 金曜 晴、夕方雨、実少、已而晴。

朝四時起。課業如例。此日、京坂及地方ヨリ電報、書状地震見舞来、返事多忙。大塚陽子母より枇杷一籠。

六月廿三日 土曜 陰、雨小細、入夜細雨。

朝三時起。課業如例。

よせより、いろは団子一箱。

受方摘要 閑院宮様より三十円。

六月廿四日 日曜 晴。

朝五時起。朝飯畢而蓮池園ニ菖蒲ヲ見而帰。余、千久子と同しく、白木二行、反物買而帰。弘方摘要 白縮緬一反、十六円十銭。浴衣三反、二円四十九銭。

六月廿五日 月曜 晴。

朝四時起。課業如例。晡時、訪姉邸而帰。午後五時過、地震ス。来客、中島行孝妻及安寿。入塾、中島安寿。松魚一箱。

六月廿六日 火曜 晴、細雨下而晴、晚又細而、已而晴。

朝四時起。六時ヨリ戸田氏二行、教授して、小松宮邸ニ詣し、教授上て帰。課業如例。来客、島田三郎、信子来。

齋藤氏より生魚**すゝき**大尾、**まなかつほ**大尾、**こち**三尾。島田氏より書翰紙一箱。万里小路より芋煎餅二袋。

*細而(細雨) *すゝき(鱸) *まなかつほ(真魚鱈) *こち(鱈)

六月廿七日 水曜 晴。

朝四時起。課業如例。午下、余、陽子ト同しく、五軒町ニ行、入夜帰。

六月廿八日 木曜 晴。八十八度。

朝四時起。課業如例。

田村氏より三十一有松しぼり一反、求肥昆布一箱。

弘方摘要 美濃礬紙一帖代、十五錢。

*有松しぼり(有松絞)

六月廿九日 金曜 晴。九十一度、夜熱甚。

朝四時起。課業如例。此日、我伯母竹子祥忌ニ付、祭祀ス。来客、山崎丑栄母来、丑栄退校願出ル。退校、山崎丑栄。

山崎氏より三十二都華織一反、干菓子一箱。

受方摘要 山崎氏より一円。

六月三十日 土曜 晴。

朝三時後起。大祓ニ付、宝前裝飾ス。課業如例。来客、三宅竜子。

松平岳子より三十四保多織二反、からすみ。三宅氏より松魚一箱。

受方摘要 会計より五円。

弘方摘要 十九円十七錢。

*からすみ(鱻子)

六月會計

入門九人、内五人入塾。

退校老人。

(七月)

七月一日 日曜 晴。九十度。

朝三時起。祈雨、宝前祭祀ス。

井深氏より岐阜提灯二箇、うちわ。

受方摘要 三条家より十円。

七月二日 月曜 晴。

朝三時後起。祈雨、課業如例。来客、斎藤善子、福田芳子。

齋藤氏より白砂糖五斤。齋藤氏より白絹一疋、桃子え白絹一疋、愛治郎夫婦え四十明石ちみ一疋、カステイラ一箱、松魚券二円。福田氏より鶏卵一箱。
受方摘要 牛込幸子、三円。

*明石ちみ(明石縮)

七月三日 火曜 晴。九十一度
三時過起。祈雨。六時、戸田氏え行、教授して、小松宮邸ニ詣シ、教授して、九時帰。課業如例。午下三時ヨリ芝公園閑院宮様え詣ス。御移転之此邸也、元東京府知事之官邸、頗結構。此日、三条資君様も始めて成らせられ候ニ付、私も御相伴仰付られ、夜九時半去。
田村盛子より四十三楊柳縮緬三反。
受方摘要 毛利万子より五円。

七月四日 水曜 晴。九十一度。
朝三時過起。祈雨。課業如例。此夕、天俄然起雲、膏雨下降。夜十二時頃、天覆盆、実天利益可惶。

七月五日 木曜 晴。如焼。朝ヨリ八十九度。
朝三時後起。大願成就御礼申上ル。課業如例。午下二時、一天黒雲降雨、已而晴。来客、大崎梅子。小木曾氏、横浜三品株式取引所新設ニ付、其会計掛ニ相成ニ付、朝一番汽車ニテ出向ル。
大崎氏より四十四足利織一反。

七月六日 金曜 晴、午下大豪雨、覆盆、已而晴。往来如川。
朝四時過起。課業如例。

七月七日 土曜 晴、雨、午下晴。七十五度、頓涼。
朝四時過起。課業如例。来客、万里為、房州ニ行暇乞ニ来、君子拉し帰る。
松田氏より松魚券五十銭。万里小路より鰻蒲焼二重。鷺田より鶏卵一箱。
受方摘要 樹下定江、三円。生源寺いさを、三円。平田三枝、三円。

七月八日 日曜 晴。
朝五時起。七時ヨリ小松宮邸ニ詣し、御息所教授申上、畢而昼餐ヲ賜フ。済て帰。中山安子帰国。
田村氏より紹縮緬一反、都華縮一反、御召織二反、ちみ浴衣地二反。小松御息所より五十一絹上布一反。鳥居礫子より菓子一箱、美の紙十帖。
受方摘要 小松宮より七円。

*ちゝみ浴衣地(縮浴衣地) *美の紙(美濃紙)

七月九日 月曜 晴。

朝五時起。課業如例。退校、室田柳子。

稲垣銚子より、**あわひ糟漬**一樽、干菓子二箱、菓子鐘詰。斎藤氏より**葛もち**一重。藤袴内侍さまより素麵一箱、**かんさし**一箱。山登みつより干魚一籠。

受方摘要 吉田★(金十臣)子、三円。藪兼子、三円。中山正子、五円。

*あわひ糟漬(鮑糟漬) *葛もち(葛餅) *かんさし(簪)

七月十日 火曜 晴。八十九度。

朝四時起。六時戸田氏へ行、教授して、帰途、田村氏へ寄、中元御祝義申入ル。已而帰。小田切音羽、帰省ス。此夕、三条家より書来、閑院宮御息所様、昨夜十一時第一王子御誕生あらせられ、今朝御薨去あらせられ候よし、実ニ驚愕之至、只々残念々々に存候。然し御息所様ハ御順当御肥立被遊候趣也。

池田愛子より氷砂糖一箱。下総やより奈良漬一樽。

*祝義(祝儀)

七月十一日 水曜 晴。九十二度。

朝四時起。七時ヨリ走車、閑院宮様ニ詣し、御産之御模様等も伺、王子ヲ拝し、已而去。又三条様え尋問致し、已而帰。課業如例。目黒菅子帰省ス。此日、舟行納涼之筈ニ候処、午下四時頃ヨリ天黒雲俄起、大雨大雷、六時頃迄不止、已而不得行、空止。

岩浪稻子より奈良漬一樽。三条様より五十二**壁すきや**一反。松平岳子、鶏卵大箱。田島春より白砂糖一箱。目黒氏より**干せんまい**。中山正子より提灯二箇。

受方摘要 松平岳子、三円。関根照子、北大路棍、田中駒子、四円五十銭。田島春子、二円。

*壁すきや(壁透綾) *干せんまい(干薇)

七月十二日 木曜 晴。

朝四時起。課業如例。午下四時頃より室母ヲ連て船遊納涼ス。**東橋**橋畔迄行、廻棹て、安田氏え便所ヲ借り、已而又上船、天雨模様にて、茗溪之辺、月清尤明、尽飲テ帰、八時後也。

宇都宮より松魚一箱。佐藤姑子より白砂糖一箱、五十四一力織二反。玉枝より白砂糖一箱、**はんかち**一。石神井豊田より鶏卵あられ一重、横浜原氏より角砂糖三箇、五十五御召縮緬一反。渡辺増子より**うちわたて箱**入。戸田氏より五十六**あかし**一反。

受方摘要 園祥子より三円。板倉閑、五十銭。松平鱗子、千疋。毛利式子、千疋。玉枝より一円。氏田氏より三十五円。

*東橋(吾妻橋) *はんかち(ハンカチ) *うちわたて(団扇立) *あかし(明石)

七月十三日 金曜 晴、夜雨。

朝五時起。七時、豊島岡閑院宮篤仁王御廟ニ参詣して帰ル。午下二時ヨリ内務大臣ヲ訪、末子ト閑談して去。志賀氏ヲ訪、又北里氏ヲ訪、毛利邸ニ到り、元徳様、安子様、面晤して、新殿にて晚餐ヲ戴テ帰ル。

安田千代子より、**白すきや**一反。毛利新殿より、五十八**壁すきや**一反。五十嵐駒子より、砂糖一箱、うちわ二本。重威より、**うなき**、煎餅一文庫。

受方摘要 安田暉子、十円。毛利美佐子、十五円。斎藤氏、五円。渡辺増、五円。

*白すきや(白透綾) *壁すきや(壁透綾) *うなき(鰻)

七月十四日 土曜 晴。 徳川邸行。

朝五時起。課業如例。午下三時ヨリ徳川邸ニ上リ、富子様教授ス。以此日、御稽古納ヲナス。来客、志賀鉄千代、山口孝左衛門、孝梅。

野口両人より鶏卵一箱。酒巻より白砂糖大箱。山田節、白砂糖一箱。高岡みせより**みの紙**五帖。遠田澄子より煉羊羹一箱。森永辰江より鶏卵一箱。志賀氏より有松絞り四反。徳川富子より有松絞り一反。同すまより六十四有松絞り一反。徳川様より鯛煎餅一箱、**うつわ**五本、带上ケ一筋、博多煙草入レ。江口氏より、**しる子**。

受方摘要 松子、澄子、菊子、町子、金六円。松野とねより五円。徳川御両人、十五円。

*みの紙(美濃紙) *うつわ(うちわ) *しる子(汁粉)

七月十五日 日曜 晴。九十度。

朝四時前起。泰、石神井村弘児ヲ訪。来客、原富太郎、小木曾亀次郎、中島安寿母、北村静、重威。予、朝ヨリ、栄、鶴拉テ、五軒町重威ヲ訪、帰途、墓参ス。又藤堂氏ヲ訪フ。俊子分婉男子ニ祝として、鶏卵一箱、**友仙縮緬**産着ヲ呈ス。原氏、小木曾氏、一宿。

浜貞子より美団扇七本。毛利元徳公ヨリ白絹一反、**すきや**一反。小木曾より干菓子二籠。中島安寿より、**ちゝみ浴衣**二反。園頼子、砂糖一箱、六十九**さゝ波縮緬**一反。広田武子より洋酒五瓶。奥村八重子より洋酒二瓶。中島安寿より鶏卵一箱。

受方摘要 広田武子より三円。万里小路国子、一円廿五銭。

*友仙縮緬(友禅縮緬) *すきや(透綾) *ちゝみ浴衣(縮浴衣) *さゝ波縮緬(細波縮緬)

七月十六日 月曜 晴。

朝四時過起。課業如例。原氏、一番汽車ニテ帰。

斎藤両人、唐饅頭一重。宮沢沢子より白砂糖、唐墨二丁。佐藤朝江より洋菓子一罐。酒井氏より鶏卵一箱。

七月十七日 火曜 晴。九十一度。

朝四時起。六時より戸田邸ニ教授して帰。午下五時より、河津祐之死去ニ付、悔ニ行。芝田町六丁目之家也。敏子ニ逢テ悔ヲ伸テ帰。閑院宮様ニ詣し、御息所御産後ヲ伺。此時、毛利美佐子様も御出にて、暫時御咄し申上ル。御産後大斗ニ御肥立ニ相成、先々安堵いたし候。夜九時帰ル。月光。

高岡みせ子、美の紙五帖。山県幸子より白砂糖一桶。

*美の紙(美濃紙)

七月十八日 水曜 晴。九十二度、本年第一熱度、難堪。

朝四時過起。課業如例。来客、吉田伝右衛門、初子帰省ス。山形菊、鶴来。

中村敬子より水仙粽七把、美扇二本。山形菊より唐饅頭一箱。同鶴より白砂糖一箱。杉浦孝子、半切一束。

受方摘要 若松典侍より五百疋。糸桜内侍、一円。堀田善子、千疋。中村敬子、二円。吉田伝左衛門、一円。

*吉田伝(右(ママ))衛門

七月十九日 木曜 晴。九十六度。

朝四時起。七時、豊島岡篤仁王御廟ニ参詣して帰。課業如例。此夕、運動場ニテ若林演史ヲ聴ク。夜熱甚。

北垣順子、のり入一束。

弘方摘要 車夫え祝義、一円五十銭。白ちゝみ一反、六十五銭。

*のり入(糊入) *祝義(祝儀) *白ちゝみ(白縮)

七月二十日 金曜 晴。九十度。

朝四時起。課業如例。

正木くら子より金玉糖一箱。三村松子より白砂糖一箱。戸田銈、白砂糖一箱。

七月廿一日 土曜 以此日暑中休暇ヲナス。晴。熱八十八度、入夜尚熱甚、八時頃ヨリ天

俄然暴風雷鳴、降雨下、熱七十六度、涼気爽然。

朝四時起。五時、大塚豊子帰国ニ付、上野迄愛治郎見立ル。此朝、塾生一同七時之迎ニ付、帰宅困雜不可言。先々一同無事帰宅ス。可喜。来客、永井市。

安田千代子より白砂糖一箱。北白川宮申橋幸より昆布二把。永井市より菓子一箱、七十明石織一反。

受方摘要 園頼子より五百疋。

*困雜(混雜)

七月廿二日 日曜 晴。
朝五時起。居間掃除ス。

藤堂家より松魚一箱、赤飯一重。南条氏より松魚一箱、半切封筒。園田銚子より角砂糖一箱。

七月廿三日 月曜 晴。八十八度。

朝三時起。余、桃子、陽子と同じく散歩して、不忍蓮花ヲ観ル。頗爽快、一面香之世界、長蛇亭休憩して、朝餐ヲ喫而帰ル。終日画の揮毫ス。来客、諸葛増子、安田暉子。

諸葛より氷みつ二瓶。北白川宮殿下より氷砂糖一箱。児島氏より松魚一箱。長谷川貞子、砂糖一箱。安田氏よりわふる一箱。青地氏より角砂糖。

受方摘要 北白川宮様より七百疋。前田氏より五百疋。

弘方摘要 岩崎元金之内え二百円入ル。

*氷みつ(氷蜜) *わふる(ワツフル)

七月廿四日 火曜 晴。

朝四時起。六時、戸田邸二行、教授して、帰途、田村氏ニ暑中ニ訪テ帰。来客、片岡君子、大前増子。

片岡君子より鶏卵一箱、袋物。大前増子より白紹袖切。

*暑中ニ(暑中ヲ)

七月廿五日 水曜 晴。地震、午前十一時頃也。

朝五時起。八時頃ヨリ、余、千久子ト同じく、白木二行。桃子帯地ヲ求テ帰。来客、広田竹子母。

小松若宮御息所より保命酒二瓶箱入。稲垣銚子より蒸菓子一箱。広田氏より菓子一箱。

七月廿六日 木曜 晴。九十五度。

朝五時起。終日揮画。桃子、朝三番汽車ニテ酒匂松濤園二行。安田千代子同行也。安田暉子之応招也。

姉小路良子さまより水仙粽十把。若松典侍、糸桜内侍より水仙粽十把。

七月廿七日 金曜 晴。九十度。

朝四時前起ル。終日揮毫画。

吉田庸子より、菓子一箱。長谷川貞子より、鶏卵一箱。

七月廿八日 土曜 晴。

朝四時起。泰、石神井村二行。終日揮画ス。来客、牛込幸子母。
朝鮮時件号外来。

支那ハ日本に對し開戦を布告し、着々戦備に怠りなく用意周到せり。我軍大勝利。去
廿五日、豊島附近に於て海戦アリ。清国軍艦より砲撃したるを以て、我軍艦よりも之
に応戦したる末、清兵千五百を載せたる運送船一隻を沈没せしめ、清国軍艦操口を捕
獲し、★(立十青)遠ハ清国に、広乙ハ朝鮮東岸に向ひ遁れたり。
又別報に曰ク、

我○○○○、○○○○等の艦体ハ去廿五日午前七時、南陽湾近海に於て清国軍艦より
の発砲に應戦し、清兵一千五百人を搭載して○○より○○に向はんとしたる清国の運
送船を打沈め、護衛軍艦を逃遁せしめたり。此報を聞也、一家万歳を唱え、此炎熱も
打忘れ、愉快無究。

佐野新子より、カステイラ一箱。牛込氏より角砂糖。小笠原忠親より金玉糖、羊羹一箱、
煮茶一罐。

受方摘要 浜荻典侍より千疋。国子より五百疋。楊梅典侍より五百疋。

*朝鮮時件(朝鮮事件) *艦体(艦隊) *無究(無極) *煮茶(煎茶)

七月廿九日 日曜 晴。八十九度。

朝三時起。残り生徒引連、上野不忍の蓮花を觀ル。東台の樹下逍遙して帰ル。爽快。此日、
我国大勝利を祝するため、国旗ヲかゝけ、祭典を行フ。

吉川氏より鶏卵一箱。西三条より氷砂糖一箱。

受方摘要 吉川氏より三円。

七月三十日 月曜 晴。八十九度。

朝四時起。来客、多久康。

多豊子より菓子一箱。小西氏より菓子一箱、西洋西瓜一箇。

七月三十一日 火曜 晴。九十一度。

朝三時半起。余、陽子ヲ連テ、氷川神社ニ参詣ス。帰途、五軒町姉邸ヲ訪テ帰。来客、遠
藤義為。午下六時前、桃子帰宅ス。

閑院宮殿下より七十一白絹一反、金米糖一箱。目賀田幸より白砂糖一箱。菅野秀子より氷
みつ二瓶。

*氷みつ(氷蜜)

七月會計

反物到来七十一反、帯二筋。

(八月)

八月一日 水曜 晴。九十二度。

朝四時起。修行ス。此日より、朝七時書画教授ヲ肇ム。

野口春子より菓子一箱。沢村鶴子、鶏卵一箱。伊藤幾三郎より平素麵一箱。

受方摘要 会計より五円。

払方摘要 壺ヶ月入費、八円九十九銭。江口え四十銭。

八月二日 木曜 晴。九十四度。

朝四時起。修行。課業如例。来客、重威、田村長子、盛子、池田幸子。

重威よりなす一籠。田村氏、玉たれちゝみ一反、七十三瓦斯ちゝみ一反、宝しめ一箱、西

洋鏡箱入、鐘詰物五箇。池田幸子より角砂糖。

受方摘要 池田氏より一円。

*なす(茄子) *玉たれちゝみ(玉垂縮) *瓦斯ちゝみ(瓦斯縮)

八月三日 金曜 晴。九十五度。

朝四時起。修行。課業如例。来客、遠藤義為、小木曾。

安田氏より珍団扇五握。

八月四日 土曜 晴。九十度。

朝四時起。修行。課業如例。

ねり間ばゝより鶏卵一箱。

*ねり間(練馬) *ばゝ(婆)

八月五日 日曜 晴。九十二度。

終日平臥。愛治郎、朝より横浜へ行。来客、成田菊、裏松千代子。

成田菊子より鶏卵一籠。園祥子よりうちわたて、うちわ五本、七十四御浴衣一枚。

受方摘要 紅梅典侍、千疋。撫子内侍、七百疋。楓内侍、壺円五十銭。

*うちわたて(団扇立)

八月六日 月曜 晴。九十二度。

朝四時起。修行。課業如例。

受方摘要 花松典侍、七百疋。

八月七日 火曜 立秋。晴。九十一度。
朝四時起。修行。課業如例。三条夏子帰塾ス。
大塚陽子母より羊羹一箱、煎茶一箱。三条夏子より西洋西瓜。

八月八日 水曜 晴。九十五度。
朝四時起。修行。課業如例。

八月九日 木曜 朝細雨、已而晴、夜十一時頃より雨降出し終夜雨。八十六度。
朝四時起。修行。課業如例。
下婢兼より鶏卵四束。

八月十日 金曜 大豪雨昨夜より降続、拜天喜雨、朝八時頃大道如海、陰晴不定。
朝四時起。修行。課業如例。本年之珍らしき事、今日始テ蚤一疋ヲ観ル。
下婢みやより西洋西瓜二。

弘方摘要 陽子え七月、八月分、二円。
*蚤(ノミ)

八月十一日 土曜 雨又晴、陰晴不定。又暴風、入夜全止。八十二度。
朝四時起。修行。課業如例。

八月十二日 日曜 晴朗。八十九度。
朝五時起。修行。此朝、余、桃子、陽子と同しく五軒町ヲ訪、十時頃帰。来客、九条恵子様、谷菅子。

恵子様より西京西瓜、氷砂糖一箱。谷菅子より最中沢山。新場かゝより玉蜀黍一束、あられ一重。

受方摘要 恵子様より千疋。
*かゝ(嚙)

八月十三日 月曜 晴。八十九度。
朝四時起。修行。課業如例。

八月十四日 火曜 晴、午下雨、已而晴。八十六度。
朝四時起。修行。課業如例。余、桃子、陽子と同しく、夕景より歩いて、東台の月を見る。
雨後月色尤清、弄荷花て其香不可言。又月ニ逍遙して帰ル、九時也。

八月十五日 水曜 晴。八十九度。

朝四時起。墓参、修行ス。父之祭日也。宝前ヲ祭祀ス。夜月尤清光、弄月、十一時臥。

八月十六日 木曜 晴。八十八度。

朝四時起。修行。課業如例。畢而詣閑院宮、御息所君ニ謁ス。御産後大斗ニ御全快、喜無限。閑談移時、十二時帰。此日、堀田伴子より書来、始而妊娠之趣、着帯之祝済。此喜無限。

矢草氏より葡萄。

八月十七日 金曜 晴。九十度。

朝四時起。修行。課業如例。園祥子御降誕之皇子輝仁親王満宮様、午前三時薨去被遊。

八月十八日 土曜 朝雨、午後又雨。

朝四時起。修行。課業如例。午下、余、栄子と同しく、姉邸ヲ訪、四時帰。栄子一宿。

佐藤姑子より衛生あめ一箱。下僕忠蔵より葡萄、鶏卵。下婢大より西洋西瓜三箇。下婢松より箒木。久米節より(○)七十五明石地、身一反。

*明石ちゝみ(明石縮)

八月十九日 日曜 雨。七十七度。頓涼。

朝五時起。来客、加茂富子。

加茂富子より唐饅頭一箱。岡崎寿光院五十二志、白砂糖一箱。

八月二十日 月曜 雨。七十五度。

朝四時起。修行。課業如例。栄子、従姉邸、帰。

田島春子より菓子器、葡萄、子持箸。朝倉、この実罐入。

*この実(木の实)

八月廿一日 火曜 晴。九十度過ル。輝仁親王殿下、御葬送御執行。

朝四時起。修行。課業如例。来客、宇都宮高子、高屋鱗子。

宇都宮氏より菓子一箱。伊藤徳より西洋西瓜二箇、はじかみ。高屋より松魚。

*はじかみ(薑)

八月廿二日 水曜 晴。八十八度。

朝四時起。修業。課業如例。退校、長倉菊子。帰塾、近藤香栄。

近藤氏より、カステイラ一箱。石山氏より、西洋西瓜五箇、南京二箇。竜介より、福神漬ふた物入。

受方摘要 長倉菊子、三円。

*ふた物(蓋物)

八月廿三日 木曜 晴。九十度。

朝四時過起。修行。課業如例。九時より岡崎寿光院五十日祭二付、宗慶寺へ参詣して帰。此日、新聞ニテ、茂木保平死去之事、**謁載**有之二付、午後五時五十五分之汽車ニテ出向。此発車、支那事件ニテ六時廿五分発車ニ乗込、横浜二行。此時、天色流墨、大暴風雨交雷、横浜着車、尚益盛。乗車、冒雨、西村氏ヲ訪。西村ニテ大驚愕、此夜一宿ス。とても山荘えハ不出向、雨成海。

*謁載(掲載)

八月廿四日 金曜 東京、朝雨。

朝六時起。朝飯後、八時、訪茂木氏。蝶子、栄子之愁傷無限。流涕、語病状。十時去。又廿五分之汽車ニテ帰。弘方摘要 汽車及車代、一円三十銭。

八月廿五日 土曜 晴。九十度。

朝三時後起。修行。課業如例。

八月廿六日 日曜 晴。

朝五時起。休暇。来客、石田常子、一宿。

石田より、**わふる**一箱。河津祐之五十日志、菓子一箱。

*わふる(ワツフル)

八月廿七日 月曜 晴。九十度。

朝三時半起。修行。課業如例。森永琴、北里虎子、堀田善子来。

僕常吉より菓子一箱。森永氏より素麵一箱、西洋西瓜、七十六御浴衣一枚、半切二束。北里氏より葛一箱。堀田氏より御すもし一重、**氷みつ**一瓶。

*氷みつ(氷蜜)

八月廿八日 火曜 晴。八十七度。 閑院宮篤仁王五十日祭。

朝四時前起。修行。課業如例。朝九時より豊島岡篤仁王御廟ニ詣ス。輝仁親王御廟ニ参詣して帰。来客、**井上市衛**、重威。井上氏一宿ス。

井上氏より喜楽煎餅一箱。

*井上市衛(井上市兵衛)

八月廿九日 水曜 晴。九十度。熱甚。
朝四時過起。修行。課業如例。來客、万里通房、重威。
万里小路より西洋西瓜二箇。

八月三十日 木曜 晴。九十度。

朝三時起。修行。課業如例。南条文雄妻愛子、男子分婉、命名文英。七夜祝として赤飯、松魚、贈らる。産衣として糸織及松魚一箱ヲ祝ふ。此午下四時過より南条氏ヲ訪。産子頗強壯、喫晚餐而帰。岩浪稻子、立花邦子より書至。

立花邦子より金山三箇、半紙二束。南条氏より赤飯一重、松魚。新樹典侍より紋縮緬切地。
受方摘要 新樹典侍より五百疋。

八月三十一日 金曜 晴。九十度。

朝四時過起。修行。課業如例。八時より五軒町ヲ訪テ帰。
齋藤兩人より七十七都華ちゝみ一反。

受方摘要 名郷氏より三円。會計より八月分手当、五円。齋藤氏より金二円。

払方摘要 雑費、二円廿七銭。

*都華ちゝみ(都華縮)

(八月會計、記載ナシ)

(九月)

九月一日 土曜 二百十日。晴、風。九十度。

朝四時起。修行。余、桃子と同じく氷川神社及墓参ス。來客、江沢房子、米倉山子、跡見玉枝。

米倉より菓子一箱。池田愛子より栗一盆。

受方摘要 江沢氏より、五円。金山氏より、三円五十銭。

九月二日 日曜 陰。無風。八十五度。

朝五時起。七時ヨリ、余、浅草故茂子之墓ニ参詣ス。此日、十三回祭祀ヲ執行ス。名々盆ニテ供養ス。來客、重威。愛治郎、横浜茂木保平葬式ニ参会ス。
五軒町重威よりなすひ一籠。

払方摘要 浅草墓守え三十銭。御花代、五銭。

*名々盆(銘々盆) *なすひ(茄子)

九月三日 月曜 大雨。七十六度。

朝四時起。修行。余、九時ヨリ閑院宮御殿ニ詣ス。御息所御ぐし中ニ付、小松若宮、三田四国町え御移転ニ付、同邸え参殿ス。御息所ニ謁し、御殿中不残拝見ス。暫時にして、又閑院宮様ニ詣し、両殿下ニ拝謁ス。荳□料□明午前二時御出師御渡韓ニ付、今夕、三条資君、公美様成らせられ、御別盃ニ付、御倍食ス。百枝、御用掛業子ト余トのみ、極々御秘密之事也。夜十二時半、御誥別、御勇ましく御出立在らせられ、二時三十分比、三宮義胤復命、御機嫌よく御出發之趣申上られる。三時、智恵君様と久々にて臥。

石橋君子、堀田善子、江副兩人帰塾ス。

石橋氏より、カステイラ一箱。江副氏より梨子一籠。杉浦氏より干梅一樽。

*御ぐし(御髪) *荳□料□(あにはからんや) *御倍食(御陪食)

九月四日 火曜 雨 七十二度。

朝七時起。八時帰宅ス。井上久可子帰塾ス。

井上氏より、菓子一箱。浅田幸子より鶏卵大箱。

九月五日 水曜 陰。

朝四時半起。修行ス。此日、塾生帰来ル、四十二人。佐藤姑子入塾、其母来。

佐藤氏より菓子一箱、帯とめ二箱。三条家、煎餅一文庫。毛利万子、鶏卵大箱、菓子一箱。

毛利式子、菓子一箱。桜井三人より、菓子一箱、葡萄一籠。斎藤兩人より占魚三十疋三籠。

中村敬子より丸ボーロ一箱。池田幾子、鶏卵一箱。渡辺増子より菓子一箱、紹縮緬、半疋

り二懸。園頼子より水仙粽五把。石川倉、するめ、松魚。杉浦孝子より唐紙百枚、菓子一

箱。石川千枝より鶏卵一箱。玉椿内侍、小半紙一束、帯しめ、七十八黒繻子、袖口美紙、

御浴衣。酒巻千せより菓子一箱。田口安、するめ、松魚。中山正子、菓子一箱。金沢芳子

より木綿。久保豊より菓子一折。

受方摘要 佐藤姑子より二円。石井初子、五円。久保豊子、三円。

*帯とめ(帯留) *占魚(鮎) *水仙粽五把(水仙粽五把) *帯しめ(帯締)

九月六日 木曜 雨。

朝四時半起。課業始執行ス。入門、依田君子。来客(コノ文、以下記述ナシ) 此日より数

学教員判(以下、記述ナシ)。

田村盛子よりなるみ一反、香水一箱、西洋檜子一籠。斎藤兩人より、カステイラ一箱、大

家棒五本及三本。塩原豊子より、菓子一箱。

*なるみ(鳴海) *大(ママ)家棒(大家玉)

九月七日 金曜 雨。

朝五時起。修行。課業如例。入門、宮本万寿枝。入塾、北垣順子。

九月八日 土曜 雨。
朝五時起。修行。課業如例。

九月九日 日曜 晴。

朝五時起。五時半ヨリ、愛治郎、石神井村高橋え行。余、午後ヨリ小松宮邸ニ詣。両殿御不在、関浦と暫時閑話して帰。来客、新野初子。
新野氏より越の雪一箱。

九月十日 月曜 晴。

朝五時起。修行。課業如例。来客、夜、志賀鉄千代。
小田切氏より氷素麦八包。杉本氏より七十九仙台紙布一反、菓子二箱。宮沢沢子より鶏卵一箱。千家国子より松魚一箱。井深より秋野の漬一樽。志賀氏より宇都宮湯葉。
*氷素麦(氷蕎麦) *紙布(しふ)

九月十一日 火曜 二百廿日。陰晴不定、午後四時頃ヨリ大風、夜一時頃ヨリ風漸止。八十二度。

午前三時半、駒込辺火。起、修行。課業如例。来客、山中峰子父。入塾、山中柳子。
吉田初子より松魚券。山中氏より蒸菓子一箱。大塚陽子母より菓子一箱。

九月十二日 水曜 晴、八十八度。

朝五時起。修行。課業如例。来客、西川鳥子入門、戸田忠義夫人清子、平尾竹子、鷺田菊江帰塾。
西川鳥子より菓子一箱。戸田氏より菓子一箱。下婢兼より栗一盆。平尾氏より松魚一箱、車前懸。鷺田氏、カステイラ一箱、干貝一連、粕漬一罐。
受方摘要 閑院宮より二円。

九月十三日 木曜 大晴朗。八十五度。大元帥陛下御発輦大吉日。

朝四時起。修行。大元帥陛下、御発車ヲ奉祈願ル御神前祭典ヲ行フ。此日ヲ以テ大本営ヲ広島ニ移さるゝに付、本日広島え行幸あらせらる。此日、秋気新涼爽快、可人征清之將軍勇氣百倍、況や大轟之西進之盛事ニ於てをや。陛下万歳々々万々歳。課業如例。

井深氏より長柄川鮎十二尾。
*長柄川鮎(長良川鮎)

九月十四日 金曜 晴。

朝四時半起。修行。課業如例。正午より戸田家、岩倉家、教授始ヲ行フ。此帰路、三条邸

二詣し、資君様御不在ニ付、直ニ帰宅ス。秋本沢子、此度縁段定ルよし、吹聴有之、其祝として白紹箱入、松魚券運送ス。角田兩人帰塾ス。来客、伊藤幾三郎。
中秋明月、月色如鏡

角田氏よりかるすせんへい一鐘。伊藤氏より(○)八十絹一反。

*縁段(縁談) *かるす(かる(と)す(カルルス)) *せんへい(煎餅)

九月十五日 土曜 晴、五時頃より雨。

朝四時起。氷川神社ニ参詣、夫より父の墓ニ参而帰。祭典執行ス。夕景ヨリ、余、桃子、陽子、菊江と、五軒町姉邸ニ行、九時帰。青山御所万里小路国子より書至。此度、権掌侍拜命、白菊内侍と名を賜ル。入塾、鶴見千代子。

中山正子よりませ肴一箱。

*ませ肴(交肴)

九月十六日 日曜 晴。夜月色殊清。

朝五時起。正午早々、余、青山御所ニ参而、浜荻典侍之局にて、万里小路白菊内侍ニ此度之拜命祝辞申伸ル。御祝酒御料理ヲ下さる。三時後、告暇而退出ス。夫より宮城藤袴内侍之局え参る。同内侍さまと久々閑談、又御酒肴ヲ賜はる、六時頃迄。已而退出ス。来客、新井信子、永野氏。中山安、帰塾。此日、弘児、従田舎帰来。来客、小木曾氏。

桃子此日より微恙アリ。

浜荻典侍より奉書半切二束、紹縮緬切地。新井信子より干菓子二重箱。石神井村高橋より栗一盆。同豊田より栗一盆。姉小路良子さまより(○)八十一小紋一反、有職文庫、鼻紙入。

園頼子より千ウドン一盆、日光産塵取二箇、毛靴一足。小山氏より饅頭、茶。小木曾氏より菓子一箱。

受方摘要 白菊内侍より千疋。

九月十七日 月曜 晴。

朝四時半起。修行。課業如例。

日本号外、

九月十六日午前中和発、同十七日午前一時陸軍省着。

昨十五日、我師団ハ平壤を囲み、激戦之後、大勝利。今朝未明、全く平壤を略取す。敵の死傷極めて多し。我軍将校以下、死傷凡そ三百人。野津師団長発。

右第一公報。第二、第三、文長けれハ不記。我大日本国、万歳々々々々々。

中山安子より、するめ五連、滋養あめ一鐘。三村氏より、するめ。斎藤兩人より葡萄一籠。下婢みやより栗一盆。小松宮殿下より松魚一折。

九月十八日 火曜 細雨、已而晴。

朝四時半起。修行。課業如例。入塾、池田愛子。高鹿尹子、信子帰塾。
池田愛子より梨子一籠。田村氏より梨子一籠。高鹿より、みりん二瓶。

九月十九日 水曜 陰晴不定。

朝四時半起。修行。課業如例。来客、角田栄子。海軍大勝利、号外来。桃子、心臓動揺ス。
角田氏より萩のもち二重。

*萩のもち(萩の餅)

九月二十日 木曜 朝雨、已而晴。

朝四時半起。修行。課業如例。桃子、病劇しく、重威も来ル。

九月廿一日 金曜 朝雨、已而晴。

朝四時半起。課業如例。正午ヨリ戸田氏ニ教授して帰。朝、重威来。

九月廿二日 土曜 晴。

朝四時半起。課業如例。桃子病快方ニテ先々安堵ス。此夜見舞之人来、其為ニか、つかれ
出、病の出来悪し。来客、重威。

田村氏より西洋菓子五瓶。

九月廿三日 日曜 秋季皇霊祭。晴、一寸細雨さつとして、已而晴。

朝五時起。桃子大ゐに出来悪し。早速井深氏来。全く昨夜の見舞の人の為めつかれ出候な
り。午後快し。右病人のため、先祖祭延期ス。来客、重威。

安田氏より衛生あめ一箱。斎藤氏より牡丹もち二重。田村氏より、おすもし一重。鷺田よ
り**ふどう**一盆。北垣より**ふどう**一籠。中島安寿、梨子。鈴木雪子より、カステイラ一箱。

*ふどう(葡萄) *ふどう(葡萄)

九月廿四日 月曜 晴、朝細雨さつと降而止。

朝四時半起。修行。課業如例。来客、本所戸田老女、重威。

斎藤氏より日本一吉備団子一箱。千家より蒸菓子一箱。安田千代より御所落雁一箱。大黒
やより**ふどう**一盆。安田輝子、**おはき**一重、外生徒一同えも。佐藤媞子、弁松料理一重。

江副氏、生鯉三尾。

*ふどう(葡萄) *おはき(お萩)

九月廿五日 火曜 晴。

朝四時半起。修行。課業如例。午下六時ヨリ姉邸二行、九時帰。
中村文子より菓子三重。

九月廿六日 水曜 晴。

朝四時半起。修行。課業如例。午下、駿ヶ台小松宮邸ニ詣ス。当日、若宮桑港より御帰朝相成ル。余、夫より閑院宮邸ニ詣し、御息所君と暫時御閑話申上テ、帰途、山本安治郎之宅を問ふ。あたかもよし、西京丸乗組之山本氏ヨリ書至ル。本月十六日海戦之形状、塾読ス。実ニ此度之海戦之愉快ナル、実ニ不可明状よし也。一家大悦。
安田善治郎氏より葡萄一籠。

*駿ヶ台(駿河台) *塾読(熟読) *愉快(愉快) *明状(名状)

九月廿七日 木曜 晴。

朝一時起。修行ス。課業如例。来客、重威、牛込幸子母、志賀鉄千代、小山田氏、江口氏。

陸も海も勝つ事のみの音信に秋のあはれもおほえさりけり

牛込氏より菓子一箱、ぶとう一籠。島田信子より、くり一盆。目黒菅子より(〇)八十二越後紬一反。茂木氏三七日誌、菓子券三円、茶券二円。

*ぶとう(葡萄)

九月廿八日 金曜 晴。

朝四時起。修行。課業如例。来客、佐伯氏入塾願出ル、堀田玉、河津敏子、久米母及節子、万千枝、民十郎九州出立、暇乞ニ来ル。中川氏死去訃音来。

堀田氏より翁あめ一箱。河津氏より、カル、ス煎餅一籠。佐伯招介人より蒸菓子一箱。久米よりなすひ。重威よりなすひ。

*翁あめ(翁飴) *招介人(紹介人) *なすひ(茄子) *なすひ(茄子)

九月廿九日 土曜 雨。

朝四時半起。修行。課業如例。午下、戸田氏、岩倉氏、教授して、帰途、姉邸ヲ訪テ帰。来客、桜井直蔵吉子退校願出ル、朝、田村長子。

田村氏より、カステイラ大箱、葡萄一籠。安田氏より弁松弁当一重。

受方摘要 桜井吉子より十円。

払方摘要 中川香奠、千疋。

九月三十日 日曜 雨。東京府民勝軍之大祝日也。

朝五時起。毎戸ニ国旗ヲ謁ケ、勝軍可祝達し有之。晚ニ祝宴ヲ開キ、我帝国万歳ヲ唱ふ。毛利式子より蒸菓子一箱。毛利万子よりヒスケト一籠。園頼子より鶏卵一箱。杉本芳子より、くり一籠。志賀鉄千代より柘榴、ぶとう一籠、北海道昆布大把。

受方摘要 小遣、五円。

払方摘要 雑費、七円。

*謁ケ(掲ケ) *ヒスケト(ビスケット) *ふとう(葡萄)

(九月会計、記載ナシ)

(十月)

十月一日 月曜 雨。

朝五時起。修行。神前ヲ清め祭典ス。課業如例。入塾、赤倉たつ子。来客、広田氏妻。齋藤氏より、くり沢山、柿沢山。広田氏より玉たれ一箱、カステイラ一箱。重威より柘榴一盆。稲垣氏より鶏卵一箱。閑院宮より蒸菓子一箱、ぶとう一籠。池田愛子より稻荷すし一重。

*玉たれ(玉垂) *ぶとう(葡萄)

十月二日 火曜 天晴朗、夜雷鳴、**聚雨**。

朝四時起。修行。課業如例。来客、江口氏。入塾、本間かや子。

松平岳子より砂糖漬一箱、鶏卵一箱。

*聚雨(驟雨)

十月三日 水曜 天晴朗。

朝四時半起。修行。課業如例。午下、閑院宮御息所、御稽古始ヲなす。畢テ帰而、小松若宮御帰朝之御悦ニ参る。八重君様御不例ニ付、暫時御蓐ニテ閑談ス。已而帰。若宮様、御帰朝早々広島え成らせられ候。夜、玉枝来。

佐藤姑子より鶏卵一箱。松平鏗子より鶏卵一箱。三村松子より最中一箱。

十月四日 木曜 陰、午下雨、終夜雨続。

朝四時起。修行。課業如例。弘児、此日より礪川学校幼稚園ニ入園ス。弘乳母高橋、此日田舎ニ帰ル。

田村氏よりわふる一箱、シヤポシ二箱、紙入一箱、半襟一懸。浜貞子より鶏卵一箱。

*わふる(ワツフル) *シヤポシ(シヤボン)

十月五日 金曜 天晴朗。

朝四時起。修行。課業如例。午下、戸田、岩倉邸ニ行、教授して、帰途、山県氏ヲ訪。松子ト閑談して帰ル。五軒町ニ往、夜九時帰。塾入、高梨兼子。五軒町重威より柿一籠。高梨氏より鶏卵一箱。

十月六日 土曜 晴。

朝四時起。修行。課業如例。

酒井錫子三人より蒸菓子一箱。

十月七日 日曜 陰。

朝五時半起。佐久間隆子帰塾。此夜八時三十五分、強震アリ。驚愕ス。校内一同、怪我なく可喜。

佐久間氏、菓子二箱。重威より松茸ずし一重。

十月八日 月曜 雨。

朝四時起。修行。課業如例。

十月九日 火曜 晴朗。

朝四時起。修行。課業如例。堀田善子病氣ニ付帰宅之件、本日と間違ル。来客、玉枝。入塾、田中わか子。

十月十日 水曜 晴朗。

朝四時起。修行。課業如例。朝ヨリ堀田善子脚氣病ニテ胸ニ差込、苦痛せらる。堀田家医師及堀田家え人をはせて、直ニ家人原田来、医師漸正午頃来、直ニ車にて善子帰宅ス。余、午下三時頃より、鶴子を拉して、五軒町ヲ訪ひ、夕景帰宅ス。

跡見玉枝より檜子一籠。

十月十一日 木曜 晴朗。夜、後觀月、月色如鏡。

朝四時半起。修行。課業如例。来客、重威。桃子、此日を以て床扨ヲなす。

此日号外、

我兵、義州を占領ス。一昨八日、我軍歩兵并ニ騎兵、義州ニ在而清兵二千を襲ひ、同所ヲ占領せり。

十月十二日 金曜 晴。

朝四時半起。修行。課業如例。午下、戸田氏、岩倉氏ニ教授して、帰途、築地万里小路ヲ訪フ。怪我全快、明日広島へ出發之筈、暫時にして帰。来客、重威、小林茂子及其母、徳川家そま、志賀鉄千代、大塚豊子郷里ヨリ帰来。

小林氏より松茸一盆。徳川氏より鶏卵一箱。下婢みやより柿一盆。大塚氏より翁羹一箱、真綿一束。

十月十三日 土曜 陰雨。

朝四時半起。修行。課業如例。来客、宇都宮高子。此日、五軒町重威、先祖祭祀ニ付、午下三時ヨリ出向ル、七時帰。

宇都宮より、カル、ス煎餅一罐。陽子母より小倉羹一箱、干菓子一箱、あめ一罐。

十月十四日 日曜 雨。

朝五時半起。来客、万里小路栄。

五軒町より葡萄、柿、御鏡。万里栄より月の雫一箱。

十月十五日 月曜 雨。

朝四時起。修行。課業如例。桃子本復祝、塾生徒えすもしを贈ル。入塾、田中かよ。朝墓参ス。父の明日ニ付、祭祀ス。

斎藤兩人よりかすていら二箱。本間かや、蒸菓子一箱。田中かよよりかすていら一箱。池田愛子より柿、初茸。田しま春子より初たけ。

*明日(命日) *かすていら(カステイラ) *かすていら(カステイラ) *田しま春子(田島春子) *初たけ(初葷)

十月十六日 火曜 雨。

朝四時半起。修行。課業如例。此日、桃子本復祝を処々え贈ル、赤飯及松魚券。菅野秀子より柿沢山。

十月十七日 水曜 神嘗祭。陰晴不定、午下四時頃ヨリ細雨、已而又止。

朝五時起。修行。朝、御神前床間え御移転申上、裝飾ス。御先祖祭典執行ス。来客ハ重威、治子のみ。生徒一同え赤飯御煮しめニ而、御神前ニおし合へし合、七十人余の生徒ニ神拝、及赤飯ヲ饗ス。畢而、夕景より桃子全快之祝宴ヲ張ル。八時後、めて度済。

重威より干菓子一文庫。野口春子より、柘榴子一盆。小松若宮より(〇)八十三、四服地ニ反、懷中物一箇。

*煮しめ(煮染) *おし合へし合(押し合圧し合) *めて度(目出度)

十月十八日 木曜 晴。

朝五時起。修行。課業如例。来客、重威。

奥村八重子より松葷、柿。

十月十九日 金曜 快晴、午下陰。

朝五時起。修行。課業如例。午下、戸田、岩倉邸ニ教授して、帰途、島田氏、堀田氏ヲ訪て帰。

野口春子より、ぼら五疋。
受方摘要 松平岳子より七百疋。

十月二十日 土曜 陰。
朝五時起。修行。課業如例。早朝、石神井村高橋ニて迎ひに来、泰、弘、新一同道にて行。
鈴木恭子より薩摩芋二俵。

十月廿一日 日曜 朝細雨、已而快晴。
朝六時起。三日ニ付、祭典執事ス。午下、桃子始て歩行ヲ試る。水川田圃迄行而帰。泰、弘等、従田舎帰来。
石神井村高橋氏より柿、芋、鶏卵、グミ。

十月廿二日 月曜 晴。
朝五時起。修行。課業如例。来客、山本久子、堀田善子。京都御寺御所え有平糖一箱、小包郵便ニテ出ス。
中村敬子より柿、柘榴、クワリン一籠。御寺御所より柿、栗。志賀氏より松茸一籠。山本氏よりわふる一箱。

*クワリン(榎植) *わふる(ワツフル)
十月廿三日 火曜 終日陰。
朝五時起。修行。課業如例。
田島氏より樽柿百箇。

十月廿四日 水曜 朝雨、午下晴天。
朝五時起。修行。課業如例。午下一時ヨリ閑院宮御教授参り、帰宅日暮也。夜、小石川同心町火。

桃永辰江より味付海苔一籠。閑院宮より、すもし一重。
*桃永辰江(森永辰江)

十月廿五日 木曜 晴朗、夜雨。
朝六時起。修行。課業如例。晡時、五軒町二行、九時帰。
井深氏より松茸、しめじ一籠。

十月廿六日 金曜 雨。
朝五時起。修行。課業如例。午下早々戸田氏、岩倉氏え行、教授して帰。

十月廿七日 土曜 晴。
朝五時起。修行。課業如例。
此日、号外来。

九連城占領。廿六日より、我軍、梨子園の方面より、九連城の敵を攻撃せり。敵ハ重
二銘字軍と毅字軍とにして、総提督宗、劉の二人、之を統率し、其総数一万六千人に
下らざるへし。敵ハ我攻撃を受け、其勢力の敵すへからざると退路を遮断せられん事
を恐れ、全軍、安東県の方向に向ツて潰散せり。
我軍、全ク九連城を乗取りたり。分捕品ハ、大砲三十門、其他、弾薬、米穀、天幕等、
無数なり。

昨廿五日之戦争、我軍の死者二十名ニ満たず、傷者八十余名。敵の死者二百余名、傷
者未詳、俘虜八十名許り。

帝国万歳。

*重二(主二)

十月廿八日 日曜 晴。

朝六時起。午下、貴婦人会ニ出席ス、四時帰。

石神井村豊田より雉子二羽。中村敬子より松茸、檜子一籠。

十月廿九日 月曜 晴。

朝五時起。修行。課業如例。

田中わか子より細工鳥類十羽。新場松より薩摩芋沢山。

十月三十日 火曜 雨、夜暴風雨、十一時頃止。

朝五時半起。修行。課業如例。

稲垣銑子より、ひらめ、ほら三疋。志賀重昂より風景論新刊一冊。角田氏、[団通布物](#)一枚。

*ほら(鯉) *[団通布物](#)([緞通布物](#))

十月三十一日 水曜 晴朗。

朝五時起。課業如例。午下、閑院宮御稽古ニ参り、四時帰。

五軒町より菊花沢山。戸田孝子より柿一籠。

受方摘要 小遣、五円。

払方摘要 本月小費、四円八十八銭。大塚陽子え九、[十分](#)、二円。

*十分(十月分)

(十月会計、記載ナシ)

(十一月)

十一月一日 木曜 晴朗。

朝四時起。修行。課業如例。午下、佐野隠居を訪ヒ、五軒町重威ヲ問フ。朝、神前裝飾して祭典ス。畢テ墓參ス。山田ぬい子入門。

田村氏より絹ハンカチ半ダース、シヤボン二箱、(〇八十五)赤フランネル一反。佐々木信綱より饅頭一箱。

十一月二日 金曜 晴。

朝五時起。修行。課業如例。午下、戸田氏、岩倉氏二行、教授して四時帰。五時頃ヨリ、泰、石神井村へ行。市蔵同道也。

佐野隠居より大栗沢山。石神井村市蔵より、あられ一重。

弘方摘要 鷺田氏震災見舞、金五円、糸織綿入一枚、**モンパ長襦半**。

*モンパ(紋羽) *長襦半(長襦袢)

十一月三日 土曜 晴朗。

朝五時起。祭典執行ス。午下、五軒町に招かれ、子供等ヲ拉して行。日暮帰。斎藤仁子、生産二付、**生着**ヲ祝ふ。

中山家ヨリ、御所御拝領の**ひらめ三尾**。

*生着(産着) *ひらめ(平目)

十一月四日 日曜 雨。

朝六時起。修行。

此日午下、号外来。

三日午後二時廿分、九連城発にて、山県大将ヨリ大本營え着したる公報。鳳凰城を乗取る。帝国万歳。

十月三十一日、立見枝隊ハ鳳凰城に入る。敵の一部ハ奉天府、一部ハ海城、一部ハ大孤山方向に逃走せり。内、**重なる**各統領ハ奉天府方向に退却ス。

地方人民の意向ハ清国兵の暴掠を忌み、我軍を敬愛ス。

九連城附近の戦に於て、敵の死傷、我軍の取集めたるもの三百余。今日迄に収集したる分捕兵器、概、左の如し。

大砲五十五、小銃千五百、砲弾二万、小銃弾二百五十万。

中島行孝ヨリ松魚一折、鶴の子餅一折。本間かやより干菓子一箱。

*重なる(主なる)

十一月五日 月曜 晴。

朝五時起。修行。課業如例。日暮、五軒町ヲ訪而、八時帰。入塾、八木ヶ谷雪子。齋藤兩人より石衣一箱。田中かよより蒸菓子一箱。佐藤姑子より弁松料理一重。齋藤仁子より樽柿五十五。石神井村豊田より鳩五羽、すゝめ、八ツ頭一盆。渡辺増子より、するめ五連、うつら豆一袋、さらしあん三袋、片栗二袋。

弘方摘要 富田稔ノ妻来、落ぶれて合力ヲ願フ、金二円ヲ遣ス。

*すゝめ(雀) *うつら豆(鶉豆) *さらしあん(晒餡)

十一月六日 火曜 晴。

朝五時起。修行。課業如例。来客、万里通房。

万里小路より羊羹一箱。野田氏より、カステイラ一箱。

受方摘要 野田操より一円。

十一月七日 水曜 晴。

朝五時起。修行。墓参ス。課業如例。午下、余、愛治郎、桃子、弘ヲ拉して、団子坂作菊を見る。既して清韓役戦争のみ也。日暮帰。入塾、梶山玉子。

土井早苗より鯉節八十本入一箱。万里通房より松魚。

*既して(概して)

十一月八日 木曜 晴。

朝五時起。修行。課業如例。来客、池田禄子及栄一児。

森永氏より新あらめ一箱。池田禄子より笹巻すもし一重。

十一月九日 金曜 晴。

朝五時起。修行。課業如例。午下、戸田氏教授して、田村氏ヲ訪テ帰。来客、中村文子。茂木泰治郎事、父の保平と改名して、家督相続之祝之為め、松魚一折ヲ呈ス。

板倉閑子より、カステイラ一箱。前田亀子より、蒸菓子一箱。中村文子より、すもし二重。小林茂子より、饅頭一箱、煮茶一罐。

*煮茶(煎茶)

十一月十日 土曜 晴。

朝五時半起。修行。課業如例。

十一月十一日 日曜 晴、夜雨。

朝五時半起。此日午前十時ヨリ琴之試験執行ス。三弦合奏。午後二時半、名々盆、赤飯、煮しめ一同え饗す。五時全畢。来客、田村増子、盛子、中村文子、敬子。小木曾氏一宿。

田村氏より繡珍羽織裏地、半襟、袋物、带上ケ。中村氏より蒸菓子一重。
*名々盆(銘々盆)

十一月十二日 月曜 雨。

朝六時起。修行。課業如例。来客、佐藤朝江。号外来、大連湾占領。

横浜原氏より鳥の子餅一箱、松魚一箱。佐藤朝江より広島産茶台、茶ジャウゴ。田村氏より柿、みかん一籠。

*茶ジャウゴ(茶漏斗)

十一月十三日 火曜 晴。

朝五時起。修行。課業如例。午下、閑院宮御殿ニ謁し、御稽古申上而帰、帰途姉邸ニ寄。

此日、大職官鎌足公御祭典ヲ拝シ、晚餐ヲ喫して帰。来客、渡辺千夏、鶴子。

増田小とみよりかつほ二尾。池田愛子より、すもし一重。渡辺氏より(〇)八十六奉書つむき一反、書翰箋一箱。

*大職官(大織冠) *かつほ(鯉) *奉書つむき(奉書紬)

十一月十四日 水曜 晴朗。

朝五時起。修行。課業如例。午下一時三十五分汽車ニテ横浜原氏へ行。善一郎、帯之祝ニ付、応招。本博多帯地ヲ祝ふ。美饌之饗応ニテ、六時之汽車ニテ帰。月如鏡。来客、佐野新子。

原氏より鯛、海老一籠。佐野氏より蒸菓子一箱。

弘方摘要 汽車代、四十銭。

十一月十五日 木曜 晴朗。

朝五時起。修行。課業如例。此日、弘、着袴之祝ニ付、土神氷川神社え参拝ス。帰途、五軒町姉邸ニ行テ帰。晡時、余、五軒町ニ行、九時前帰。

十一月十六日 金曜 晴朗。

朝五時起。修行。課業如例。午下、戸田、岩倉邸ニ行、教授して帰。来客、井上市兵衛、一宿。

井上氏より、煎餅一箱、青墨十挺箱入。

十一月十七日 土曜 晴。

朝五時半起。修行。課業如例。午下、余及愛治郎、橋本、井上氏と同しく、巢鴨穴戸氏紅葉ヲ観ル。未だ十分ならず、七分之秋ヲ呈し、逍遙して、裏門より大塚え出テ帰。日暮也。弘方摘要 井上氏、二円。

十一月十八日 日曜 晴朗、微震。

朝六時起。愛治郎、泰、弘両児ヲ拉テ、井上氏と同しく、横浜原氏へ行。九時之汽車之管
之处、途中原氏二逢、同道ニテ帰ル。富太郎、安子、善一郎、春子、其外主従八人連ニテ
来ル。午下二時頃ヨリ、愛治郎、子供同道ニテ上野辺え遊行して帰港ス。

原氏より(○)八十七小紋織御召箱入、八十八糸織一反、八十九八丈島一反、紋襦子帯地二本、
蒸菓子一箱、召使え唐綾十一反。

*八丈島(八丈縞) *唐綾(唐棧)

十一月十九日 月曜 晴。

朝五時半起。修行。課業如例。山形菊来、此度、片山鶴、縁段治定ニ付、暇乞ニ来ル。右
鶴え鼠縮緬紋付小袖二重ヲ祝ふ。

斎藤両人より大福二重。山形菊より糸切団子一重。片山鶴より蒸菓子一箱。

*縁段(縁談)

十一月二十日 火曜 雨。

朝四時起。修行。課業如例。

本間かや子より蒸菓子一箱。

十一月廿一日 水曜 晴朗、六十六度。

朝五時半起。修行。課業如例。午下、閑院宮参殿、御息所御教授申上テ去。日暮也。

十一月廿二日 木曜 晴。

朝五時半起。修行。課業如例。来客、児島細君来。退校、児島愛子。午下、植物園ニ散歩
して帰ル。

児島氏より朱檀衝立、奈良時代写しの文庫。

十一月廿三日 金曜 新嘗祭。晴。

朝三時起。修行ス。終日揮毫ス。夕景より本郷辺散歩して帰。

弘方摘要 ハコベ塩、五銭。茶碗二ツ、十二銭。羽箒木、二銭。

十一月廿四日 土曜 陰。

朝六時起。修行。午下早々戸田氏へ行、教授して帰ル。来客、星野花子。
号外、

旅順口占頌

右攻撃八十九日より始まり、激しき戦争ガ引続きたる後、廿一日に全く略取せられた

り。

星野花子より松魚一箱。

受方摘要 鹿島氏より二円、潤筆。

十一月廿五日 日曜 雨。

朝六時起。祭典執行ス。旅順口占領ハ全く廿一日払暁より始り、一日にして略取せり。帝
国万歳、市中万歳之声天ニ響き、勝利之祝にて賑々敷事也。

払方摘要 軍事公債三十円出ス。

十一月廿六日 月曜 晴。

朝五時半起。修行。課業如例。

田中かよ子より、こんにやく二籠。江副静子より大梨子十ヲ。

十一月廿七日 火曜 晴。

朝三時起。修行。課業如例。午下二時より新橋迄小松宮御息所広島還御ニ付、御迎ニ参ル。
三時五十五分御機嫌能御着ニテ即帰ル。

齋藤兩人よりハンペイ一重。

*ハンペイ(半平)

十一月廿八日 水曜 晴。

朝五時起。修行。課業如例。午下、閑院宮え参殿、御教授申上て帰。帰途、五軒町ヲ訪フ。
此夜、牛込辺市中、旅順口占領之祝捷会ニテ、万歳之声天地ニ響て賑々敷事也。八時帰。

十一月廿九日 木曜 晴。

朝五時半起。修行。課業如例。夜、本郷辺散歩して帰。来客、石山千代丸此日より雇入ル、
重威来。

受方摘要 玉枝、五十銭。

払方摘要 ヒフノ飾、廿銭。

*ヒフ(被布)

十一月三十日 金曜 朝雨、正午ヨリ晴。夜八時過、地震。

朝六時起。修行。課業如例。午下、戸田氏、岩倉邸ニ行。教授して帰。

受方摘要 小遣、五円。

払方摘要 小遣、一円。江口え廿銭。

(十一月会計、記載ナシ)

(十二月)

十二月一日 土曜 晴、四十八度、覺寒威。

朝五時半起。祭典、課業如例。墓參ス。夕景、五軒町ニ参詣して帰。

十二月二日 日曜 雨。

朝六時半起。来客、女子師範学校生徒十二人、參觀ス。

茂宗成就日。

上総やより生鴨二羽。

十二月三日 月曜 晴。

朝五時半起。修行。課業如例。

十二月四日 火曜 晴。

朝五時半起。修行。課業如例。此日ヨリ画試筆、手本生徒ニ授ク。

安田輝子より鴨二羽。

十二月五日 水曜 晴。

朝五時起。修行。課業如例。晡時より五軒町姉邸ヲ訪フ。祝捷御礼也。夜八時帰。

弘方摘要 五軒町え一円。

十二月六日 木曜 晴。

朝五時起。修行。課業如例。来客、福田芳子。堀田伴子、昨五日女子**扮婉**ス、申来。

福田氏より五色揚物一籠。

***扮婉**(分婉)

十二月七日 金曜 晴。

朝五時半起。修行。課業如例。堀田善子、昨夜ヨリ病氣ニ付、今朝帰宅ス。余、午下早々戸田氏、岩倉氏え教授シテ帰。神田**岩元**町火。

山県幸子より鯛、海老、蛤一籠。

***岩元**町(岩本町)

十二月八日 土曜 晴、入夜曇。

朝五時半起。修行。課業如例。夕景、乗月、上野公園ニ散歩ス。明九日東京市民祝捷会ニ付、公園馬見場より馬場不残、竹柵ヲ結ヒ、紅白之幕張詰ル。不忍池中、清艦定遠、致遠泛へリ。黒門跡ニ玄武門ヲ建テ、所々ニ緑門アリ。明日之光景可思。月尤清光、八時帰。三年生授号名五人、安田暉子、角田千重子、牛込幸子、池田愛、堀田善子。
*遠泛へリ(遠泛べリ)

十二月九日 日曜 曇天。

朝五時起。修行ス。愛治郎始、表ノ人々、皆祝捷会会員ニ付、七時半出門ス。余、千久、桃子、栄子ト同しく、佐藤芳三郎氏宅ニ行。会員一同、宮城前ニ万歳ヲ唱へ、夫より行列、皆佐藤氏門前ヲ過、昼比迄見物ス。喫昼飯而帰。実ニ其人幾千万人なるや、不可計。四時頃より池之端中井氏ニ行、楼上ヨリ、かの定遠、致遠ニ水雷艇ニテ焼打之處、実ニ壮快、未曾有之盛会也。筆紙不尽。

十二月十日 月曜 雨。

朝六時起。課業如例。書試筆、授生徒。弘児、従田舎帰。田村氏より十一小紋御召一反、繻珍帯地、唐繻子帯地、博多男帯地、西洋菓子。池田愛子より蒸菓子一箱。齋藤兩人より、みかん一箱。石神井村高はしより鶏一羽、赤飯一重、うとん粉一袋。

受方摘要 安田氏より五円。牛込氏より五円。角田氏より五円。

*高はし(高橋) *うとん(饅飴)

十二月十一日 火曜 晴朗、六十度。

朝五時半起。課業如例。来客、永井市、松平直方使多賀谷正士。

佐藤姑子より菓子一箱。永井市より十三坐ふとん地二反。

*坐ふとん(坐布団)

十二月十二日 水曜 晴。

朝五時半起。課業如例。午下、閑院宮御教授申上て帰。入塾、田村広子。

渡辺増子より鮭二尾、鰻二把。

十二月十三日 木曜 晴。

朝五時半起。修行。課業如例。

十二月十四日 金曜 晴。

朝五時半起。修行。課業如例。来客、井上市兵衛、石神井豊田バ、一宿。堀田和子え御

祝物、緋板しめ着尺ヲ贈ル。

角田氏より、みかん一箱、小鳥十五羽。井上氏より菓子一箱。下婢兼より饅頭一重、最中一箱。豊田より、あられ一重。

弘方摘要 井上氏え、一円。

*バ、(婆) *板しめ(板締)

十二月十五日 土曜 朝、雪、あられ降。寒気始甚。

朝五時半起。修行。課業如例。午下、夕景より五軒町二行、帰途傷足、八時帰。来客(以下、記述ナシ)

秋元沢子より(百十四)白七子一反、松魚一箱、赤飯一重。

弘方摘要 軍事公積券集ニ応ス、三百円内三十円出ス。

*あられ(霰) *軍事公積(軍事公債) *券集(募集)

十二月十六日 日曜 晴。寒威甚。池ニ氷結、霜柱三寸計。三十度。

朝六時起。午下早々、余、桃子、毛利万子、式子、三条篤子、夏子、福田梅子、其外十人ヲ拉して上野音楽学校ニ山勢一同之奏樂ヲ聴。四時過帰ル。

十二月十七日 月曜 晴、午下三時頃より雨。

朝六時起。修行欠席。課業ヲ休ム。少シ足ノ傷不快。

遠山兩人より、みかん一箱。青木久衛より長芋一籠。大塚陽子より、みかん一箱、半襟一懸。

受方摘要 安田暉子より十円。堀田善子、五円。遠山、一円。

十二月十八日 火曜 晴。

微怠アリ、欠課業、終日平臥。

牛込幸子より切かちん。

*微怠(微恙)

十二月十九日 水曜 晴。

朝六時半起。修行。課業如例。

号外来。

第一軍之捷報

本月十一、十二日、栃木城乗取。

十三日、海城陥落。

万歳々々万々歳。

受方摘要 牛込幸子、三円。

十二月二十日 木曜 晴。

朝六時起。修行。課業如例。辻八千え書ヲ寄ス。岩浪稲子より書来。島田三郎より書来、昨十九日女子分娩、兩人共壯健申来。

田島氏より交肴一箱。広田氏より蒸菓子一箱。戸田銚子より松魚一箱。安田千代子より百十五本八丈一反、繡珍羽織裏。山登みつより鱒一籠。森永辰枝より鮭一尾。

受方摘要 中山正子、五円。広田武子、三円。田島春子、二円。

十二月廿一日 金曜 晴。

朝六時起。神祭ス、課業如例。午下、戸田氏へ行、教授納して、田村氏え歳暮二行。岩倉邸二行。教授納して帰。

戸田氏より百十六小紋風通織一反。岩倉氏より百十七白秋田織一反。

受方摘要 毛利万子、五円。土山、伊東、大館、赤塚六円。岩倉梭子、十八円。戸田三人、十六円五十銭。

十二月廿二日 土曜 晴。

朝六時起。修行。課業如例。午下早々閑院宮参殿ス。御息所、明日より沼津え御療養ニ成らせられ候ニ付、御暇乞申上ル。夫より小松若宮様え参殿、御息所君と暫時閑談、畢而去、島田三郎氏を訪フ。出産之児も大ぬに壯健、先々安堵。已而帰、日暮也。此日より授業納ヲナス。塾生過半、帰省ス。

卯都宮氏より、松魚一箱。中村敬子より、砂糖一箱。岩浪稲子より、蒲鉾大板三枚。近方より干菓子一箱。閑院宮様より十八小紋御召一箱。同幸より真綿**三巴**。井深氏より赤飯一重。池田愛子、みかん一箱。中山安子、鶏卵一箱。園頼子、鶏卵一箱。

受方摘要 平田三枝、三円。生源寺いさほ、三円。樹下定江、三円。北大路梶、大館町子、堀内いさを、四円五十銭。

*卯都宮氏 (宇都宮氏) *三巴 (三把)

十二月廿三日 日曜 晴。

朝六時起。修行ス。

松平岳子より鶏卵一箱。毛利氏より十九二十系織二反。藤袴内侍さまより鶏卵一箱、廿二手拭地二反、ひぢき一袋。野口春子より鴨二羽籠入。斯波滋子より菓子一箱。

受方摘要 中村敬子、二円。万里小路智、五百疋。渡辺増、五円。堀田善、千疋。園祥子、三円。

十二月廿四日 月曜

朝六時起。**すゝ払**を執行ス。来客、佐野隠居。

齋藤両人より繡珍帯地二本、繡珍半巾帯一本、本博多男帯一本、松魚大一箱。安田善治郎より、みかん二箱。安田忠兵衛より砂糖一桶。島田三郎より書翰箋一箱。伊藤定子より大豆。井深氏より秋野々漬一桶、みの紙十帖。正木信子より、みかん二箱。中浜糸子より鮭一尾。米屋より鮭一尾。徳川氏より鯛煎餅一箱、一口香一箱。
受方摘要 齋藤両人、五円。前田氏、五百疋。佐藤姑子、二円。吉田★(金十巨)子、三円。藪兼子、三円。徳川両人、十五円。
*すゝ払(煤払) *秋野々漬(秋の野漬) *みの紙(美濃紙)

十二月廿五日 火曜 晴。

朝六時起。弘、新一同道にて石神井村高橋へ行。前田献吉死去二付、金五百疋香料ヲ贈ル。久米節子より白ふらんねる。前田氏より縮緬縫模様ふく紗、鴨二羽籠入。玉枝より半かち、手遊類。佐藤姑子より鶏卵一箱。青地栄より甘な納豆一罐。園田銈子より、みかん一箱。受方摘要 九条道孝、千疋。松平岳子、五円。西村喜三郎、二円。板倉閑子、一円。若松典侍、一円。糸桜内侍、一円。
*白ふらんねる(白フランネル) *ふく紗(帛紗) *半かち(ハンカチ) *甘な納豆(甘名納豆)

十二月廿六日 水曜 晴。

朝五時半起。修行ス。来客、宇都宮高子。関博直夫人死去ス。
松平頼子より鶏卵一箱。横浜原氏より鴨二羽籠入、風通御召一反。堀田正倫より赤飯一箱。若林より初夢つけ一壺。表具屋より、みかん一箱。玉手菊洲より、みかん一籠。
受方摘要 堀田正倫より三円。
弘方摘要 大塚陽子え二円。
*初夢つけ(初夢漬)

十二月廿七日 木曜 晴、夜風雨。

朝六時起。修行ス。豊前久米氏え紙包物出ス。島田三郎氏生児え産衣ヲ祝フ。此夜十一時頃、石山家より人来、三位殿御死去之由申来、直ニ基威懸付ル。
北垣順子より、みかん一籠。高岡みせより、カステイラ一箱。鳥居礫子より守口漬一樽。鷺田氏より鶏卵一箱。
受方摘要 三条家より拾円。
*懸付ル(駆付ル)

十二月廿八日 金曜 晴朗。

朝五時起。修行。朝飯早々、余、石山家二行。一同愁傷不可言、先々悔ヲ申て去。それより関博直家二行、悔ヲ申て帰。石山家え香奠千疋、関家え同断。来客、成田菊、小木曾氏。

岩浪長蔵より鴨二羽。成田菊より鴨二羽。田中若より松魚一箱。小笠原氏より、みかん一箱。小西氏より交肴一箱。浅田幸子より鶏卵一箱。小木曾より福神漬二箇。蒲生氏より鶏卵一箱、本二冊。
受方摘要 松平鱗子より千疋。

十二月廿九日 土曜 晴。

朝六時起。修行ス。終日、前田氏之絹本揮画ス。桃子、昨日ヨリ関氏之夜伽二行、今朝十時帰途、車より落テ怪我ス。夕景、万里為子附添、帰宅ス。一同驚愕ス。然し目ノ上ニ少々**負腸**ニテ格別之動揺もなく、先々安心也。

稲垣氏より鶏卵一箱。浜弘一、みかん一箱、**みの紙**五帖。北村静、みかん一箱。五軒町重威より菓子一文庫。江口氏より**せんへい**一袋。関博直より蒸菓子一箱。酒巻氏より砂糖一箱。野口豊、くにより鶏卵一箱。上芝氏より干菓子一箱。

受方摘要 茂木栄子より五円。重威より一円。

払方摘要 買物、二円四十銭。

*負腸(負傷) *みの紙(美濃紙) *せんへい(煎餅)

十二月三十日 日曜 晴。

朝六時起。修行。方々え書ヲ寄ス。午下、五軒町姉邸え御歳暮二行、墓参ス。万里小路通房、志賀鉄千代。

酒井氏より鴨一籠。杉本、鴨一籠。山県安兵衛、カステイラ一箱。下総やより鶏卵一箱。赤倉氏より松魚一箱、砂糖一箱。杉浦氏より鶏卵一箱。志賀氏より鯛糟漬一樽、すもし一重。小笠原家原喜一郎、鶏卵一箱。

受方摘要 松野氏より五円。

十二月三十一日 月曜 晴。

朝六時起。修行ス。終日、新年迎え之大準備、漸齊。朝廷モ御留守様、及戦争之真最中ニ付、新年之御式等被廢ニ付、一月ハ名札計二百枚余、及五日新年会をも見合ニ付、生徒え端書一百枚余出ス。実に此暮ハ当家ハ大々繁昌にてゆたかなる年の暮也。
此日之到来物、実ニ沢山ニテ山ヲナシ、一々記載せず。

受方摘要 手当、五円。

払方摘要 小費、八円三十六銭。

十二月會計

反物、百廿三反、帯地、(記載ナシ)